

地球憲章

山井教雄・憲章日本委員会

Manga The Earth Charter

ESDエコロジカル会議・名古屋



まんが 地球憲章

地球を救うための価値と原則



文・漫画 山井教雄

監修・発行 地球憲章アジア太平洋・日本委員会

序文 今なぜ地球憲章か

8 第1章 人口爆発と食糧

- 13 人口爆発
- 17 食糧問題
- 19 穀物か肉か
- 21 水問題

序文 今なぜ地球憲章か

9 地球憲章アジア太平洋・日本委員会代表 広中 和歌子

長い人類の歴史の中で産業革命以降特に20世紀に入つてはなかつたのでないかと思います。科学、技術、医学などの進歩によって、わたくし達人類はめざましい経済発展、富、長寿などを手にしましたが、その反面、地球環境の劣化や戦争の規模とその被害の拡大など、大きな負の課題を抱えることにもなりました。

26 第2章 地球温暖化と異常気象

- 27 地球温暖化
- 29 海面上昇
- 31 台風やハリケーンが強力になる
- 33 大干ばつと大洪水
- 35 森林破壊
- 37 アマゾン
- 39 タイガ
- 40 草原の砂漠化
- 41 京都議定書
- 43 COP（気候変動枠組条約締約国会議）
- 45 温暖化防止策
- 47 個人の対策

50 第3章 戦争と平和の配当

- 51 戦争と武力紛争
- 53 冷戦
- 55 民族紛争、人種差別
- 57 テロとの戦い
- 59 政教分離
- 61 あらゆる差別に反対する
- 63 動物に対する差別
- 65 民族融和
- 67 唯一の被爆国日本、脱原発へ
- 69 平和の配当

その増え続ける人びとが、より物質的に豊かな暮らしを求め、先進国これまでのような経済発展を望むならば、地球の資源は枯渇し、さらなる環境劣化につながります。

気候変動による異常気象、海面上昇、森林の破壊と減少、砂漠化など、こうした環境劣化によって大きな人的経済的被害が生じ、特に貧しい人々の暮らしを直撃するでしょう。多くの環境難民が世界各地で発生することになるでしょう。貧困は人びとの心にプラストレーニングを生み、それが紛争に発展すればそこにはさらなる貧困と環境破壊の悪循環が生じます。

現在、20%に過ぎない国、人々が地球資源の80%を消費していると言わっている不公平な世界。貧困に追い討ちをかけるような紛争や環境破壊の悪循環を断ち切り、地球規模の視点に立った公正な世界を創っていかなければならぬ、というのがわれわれ人類が足を踏み入れたこの21世紀の大きな課題ではないでしょうか。

こうした課題への問題意識は、20世紀後半から国連機関、NPO、有識者などによつてさまざまなかで提起され、話し合わされてきました。その対応の一つに1972年に発表されたローマクラブの「成長の限界」があり、世界に大きなインパクトを与えるました。更に、環境問題の解決には、条約や法令だけでは不十分で、人々の考え方、行動そのものを変えるような哲学、倫理観、行動規範が必要だという考え方方に立ち、1987年、ブルントラント委員会の報告書「われら共通の未来(Our Common Future)」の中で地球憲章の作成が勧められました。その後1992年にブラジルのリオで地球サミットが開催され、“持続可能な開発”が大きなテーマとなりました。折から戦後長く続いた東西冷戦も終わり、世界

が地球環境問題を人類共通のテーマとして話し合う協調ムードが高まつた時でもありました。

170ヶ国もの政府代表をはじめ、国際機関やNGO、宗教団体、市民などが参加した地球環境会議では、“地球規模で考え 地域で行動する(Think Globally, Act Locally)”の標語のもと活発な討議がなされ、会議が採択したAgenda 21(行動計画)とRio宣言の合意に基づきその後各団体は環境課題でさまざまな取り組みをはじめました。この会議では、“温暖化防止条約” “生物多様性条約”が署名されたものの、国際NGOによって提出された地球憲章は残念ながら採択に至りませんでした。

しかし“地球憲章”作成への新たな動きは1994年、M. ゴルバチヨフ元ソ連邦大統領、M. ストロング RIOサミット事務総長、R. ルベルス オランダ首相を中心的に、新たなスタートをきることになりました。1995年夏オランダはハーグ市のピースパレスに世界中からさまざまな分野の人びとが招かれ、地球憲章を作る提案がなされ、その内容について討議が行なわれました。私もその中に参加した一人で、3年後に新設された起草委員会のメンバーとなりました。

その後、リオサミットから5年後の1997年再びブラジルのリオで、RIO + 5の環境会議が開催され、その会議と並行して地球憲章起草委員会が開催されました。世界各地から地域、職業、年齢を代表する24人が参集し、地球憲章に盛り込むべき中味を検討し、“地球憲章草案”

を作成しました。

この草案をもとに、世界中からより多くの人々の声を聴く作業が起草委員を中心に行われ、3年後の2000年3月

ミレニアムの年に起草委員がパリのUNESCO本部に集まり、最終稿が決定されました。そして同年6月、ハーベースのピーススペースにおいてベアトリクス女王陛下御臨席のもと地球憲章は正式に発表されました。

地球憲章は前文、16章の本文、今後の選択の道、から構成されています。この地球は我々人類にとって唯一のすみかであり、他の多くの動物、植物と共生していること。我々人類がわがもの顔でのさばり、それらを利用し、破壊しています。

この地球を自分たちの世代で終わらせてはならない。素晴らしい地球の恵みを子や孫の世代にひきわたさなければなりません。

そのためにはわたしたちの生き方、考え方を地球に見て持続可能なもの（Sustainable）、環境に優しいものにしなければなりません。これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄の生活パターンを改め、生物多様性の喪失、その他他の環境劣化を食い止める必要があります。

地域のコミュニティとそこに住む人びとの配慮を忘れず、それぞれの地域の文化、しきたりを尊重しつつ、地球全体の環境を守っていこうとするものです。人権を守り、貧困をなくす努力をし、識字率を高め、女性や、

少数民族に配慮した民主的で非暴力の社会を築こうとするものです。

以上が“今なぜ地球憲章か”的説明です。

地球憲章誕生後、世界各地でこの憲章を広める活動がさまざまなもので行なわれております。国内外で著名な山井教雄氏が地球憲章に触発され、作成したこの漫画の発行も、多くの人々、ことに若い世代の皆様に、地球憲章のテキストをより親しみやすく読んで、その価値と原則を理解いただきたいという切なる思いからです。

本書は「ESD（持続可能な開発のための教育）」に関するユネスコ世界会議」が名古屋市で11月10日-12日に開催されるのを機に、日本語と英語で出版しました。来年は地球憲章発表から15周年を迎える、世界各地で地球憲章推進を目指す多彩な行事が計画されています。この漫画も他の作品、催しと共に国内外の皆様の地球憲章に対する理解を深めるのに役立つことを願っています。

なお、本書出版を発案・企画・監修した功刀達朗国連大学客員教授、アドバイザー竹内恒夫名古屋大学教授、その他の日本委員会の賛同者の皆様と、翻訳家阿部明日香氏に対し感謝申し上げます。

2014年11月

第一章 人口遷移と食糧

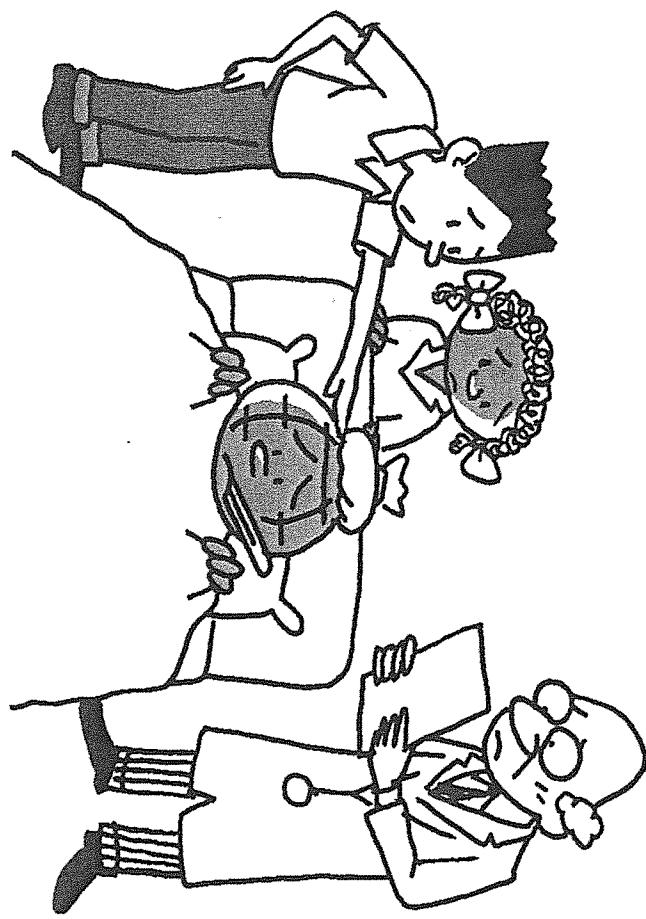
ナタリー：
あらジロー。花束なんてもって、どこ行くの？

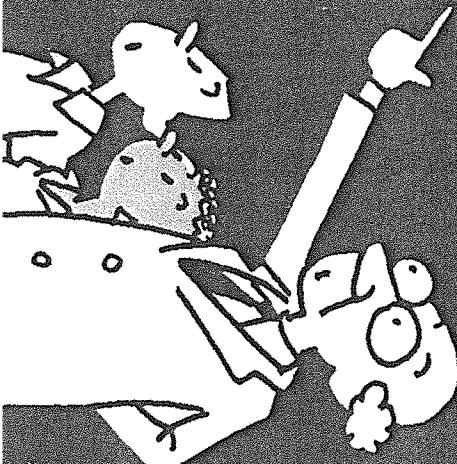
ジロー：
友達が入院したんで、お見舞いに行くんだ。



ジロー：
具合はどう？

地球：
あまり良くない。
熱が下がらないんだ。





ドクター・ガイア：

地球は、我々が知っている限り、広い宇宙で生命を
はぐくんでいるただ一つの星じゃよ。

地球は、人間も含めた、地球上のあらゆる動植物、
それに空気や水、土壤などがお互いに影響しあって、
生物が生存しやすい環境に進化してきた一つのシス
テム…一つの生命体なのじや。
そのシステムが、人類の思慮に欠ける活動で狂っ
てきた。つまり、地球が病気になっちゃったのじや。

人口爆発

ジロー：

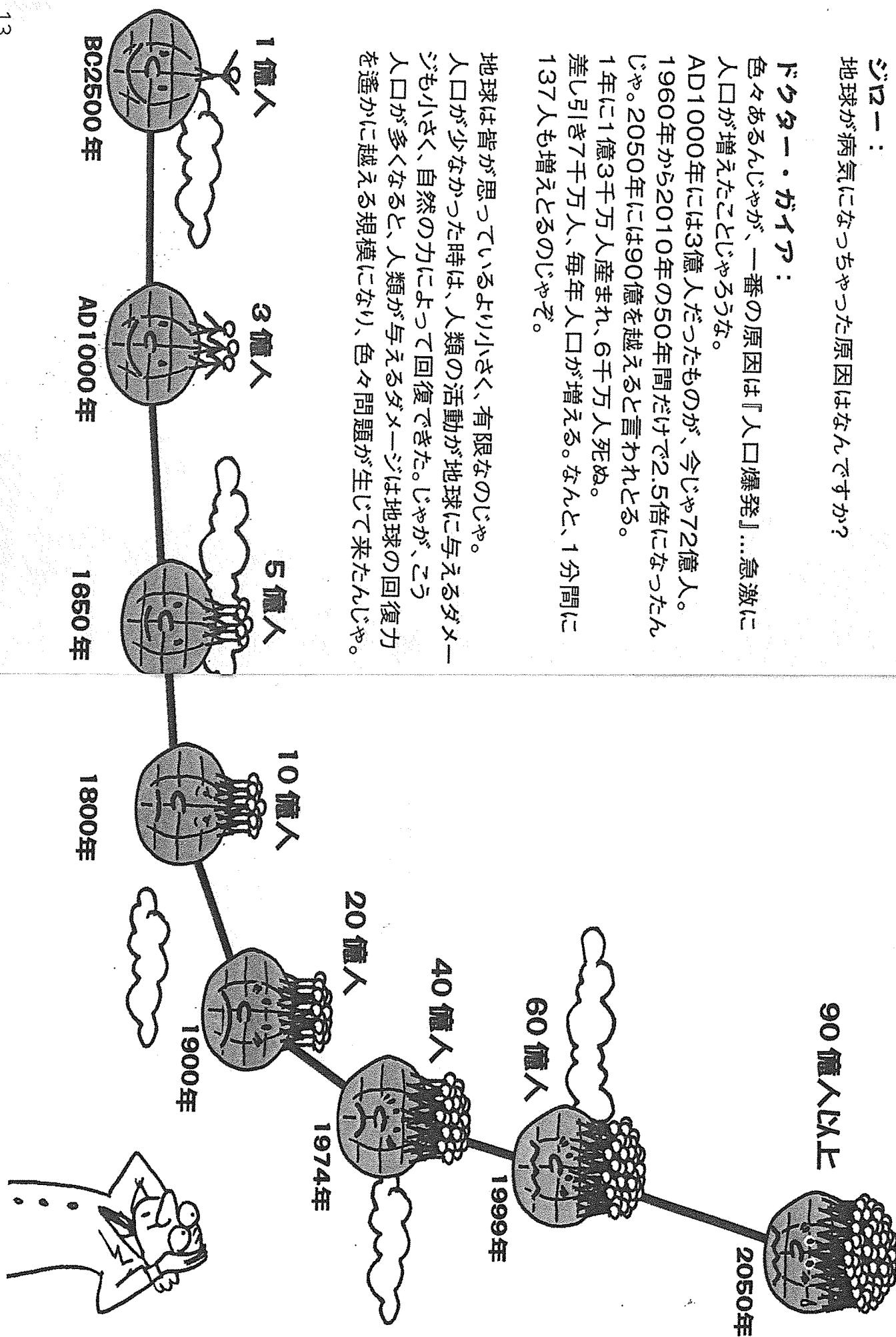
地球が病気になっちゃった原因はなんですか？

ドクター・ガイア：

色々あるんじやが、一番の原因は『人口爆発』…急激に人口が増えたことじやろうな。
AD1000年には3億人だったものが、今じや72億人。
1960年から2010年の50年間だけで2.5倍になったんじや。2050年には90億を越えると言われどる。
1年に1億3千万人産まれ、6千万人死ぬ。
差し引き7千万人、毎年人口が増える。なんと、1分間に137人も増えどるのじやぞ。

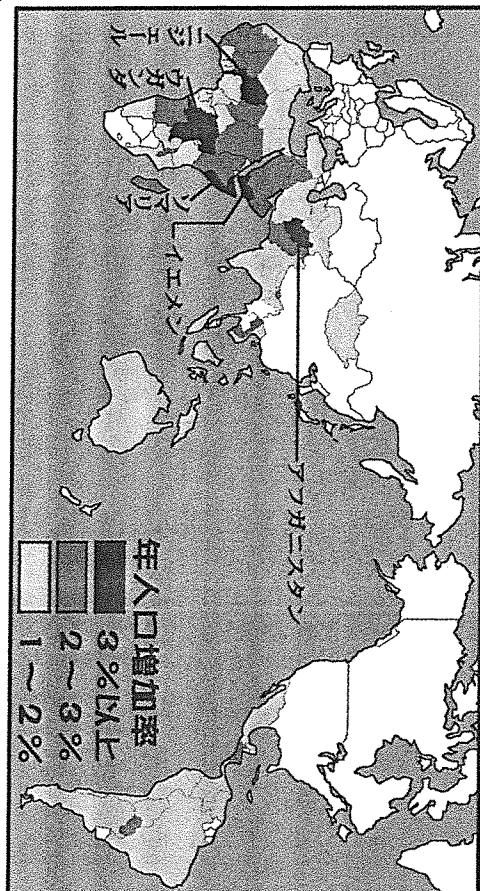
地球は皆が思っているより小さく、有限なのじや。

人口が少なかった時は、人類の活動が地球に与えるダメージも小さく、自然の力によって回復できた。じやが、こう人口が多くなると、人類が与えるダメージは地球の回復力を遙かに越える規模になり、色々問題が生じて來たんじや。



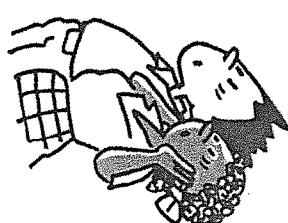
ジロー：どうしたら人口爆発は押さえられるんですか？

ドクター・ガイア：
世界で人口が多い国は、一位中国が13.9億人、2位インドが12.6億人、3位アメリカが3.2億人、4位インドネシアが2.5億人。アジアが世界人口の60%を占めている。
しかし、こういった人口大国で人口爆発が起こっているわけではないんじやよ。
下の図を見てごらん。



ナタリー

それに、アフガニスタン、イエメンなんかのイスラム国も多いね。アフガニスタン、ソマリアなんか、戦争してる国でも人口が増えるんだね。



世界の最貧国

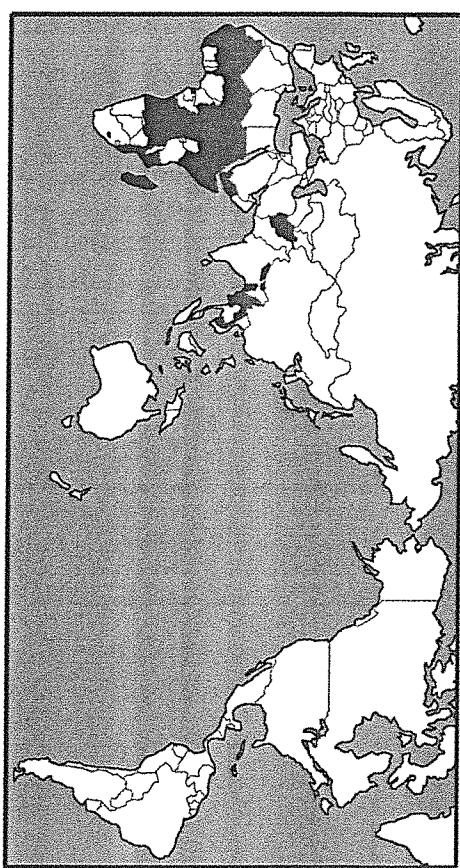
トニ・エリクソン

上の地図の赤い国は、国連が定める「最貧困」じゃよ。人口爆発(急激な人口増加)が起こっている国と、殆ど重なるじゃろ。もともと貧しい国では出生率(生まれる子供の数)も死亡率も多く、人口は安定していたんじゃが、外国からの援助などで進歩した医療が入ってきた結果、出生率が高いまま死亡率が低下した。これが人口爆発の原因じゃ。貧しい国では、子供には手をかけない。

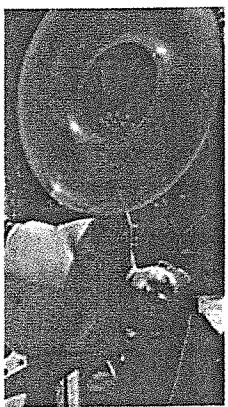
いし、労働力と考えているから大勢産むんじや。反対に、豊かな国では都市化、工業化が進み、

反対に、豊かな国では都市化、工業化が進み、教育が行き届いた結果、女人の社会進出が進み、カップルが大勢の子供を持つより、豊かな生活を求めるようになった。当然、出生率が下がり、人口増加より、むしろ人口の減少や老齢化が問題になってきた。

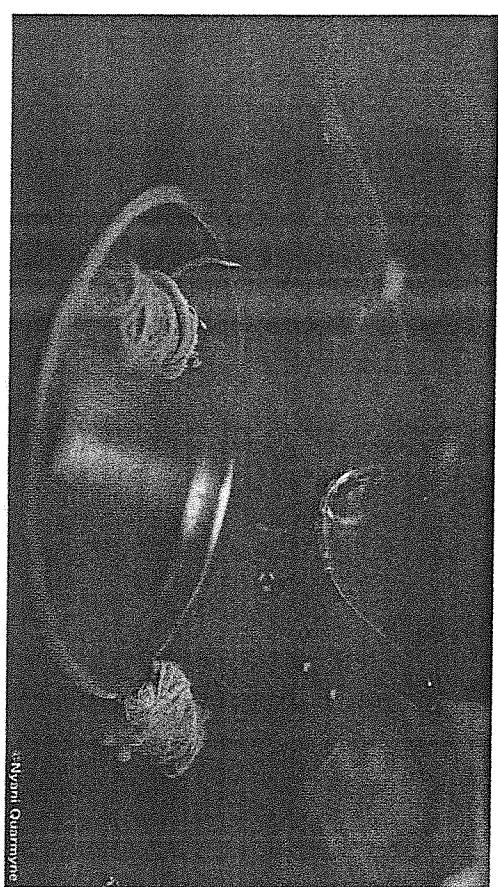
それで、最貧国の経済を発展させ豊かにすれば、先進



食糧問題



世界の4千万人の児童が体重過多又は肥満
UN News / WHO Photo

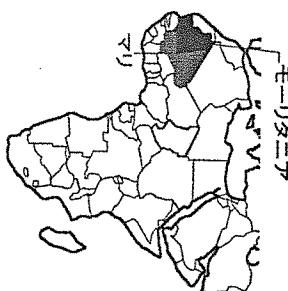


ナタリー：地球はどのくらいの人口を養えるんですか？

ドクター・ガイア：

年に150kgの穀物があれば、人間一人生きて行かれる。
今、世界の穀物生産高は24億トンを越えているから、
100億人以上の人を十分養えるはずじゃ…平等に分配
されねばな。

ところが、貧しい国では10億人が飢えに
苦しめ、毎年1500万人、1分間に17人
が餓死している。
その一方、豊かな国では食物を浪費し、
2億人が食べ過ぎで肥満に
苦しんでいるんじや。

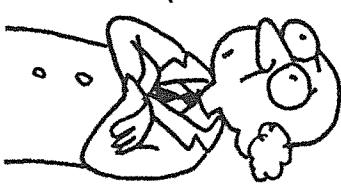


ドクター・ガイア：

世界の人口の20%でしかないアメリカ
などの豊かな国の人々が、穀物の50%を
消費している。貧しい国の人たちの3倍
も食べてる計算になる。

日本では、60%食料を輸入に頼っていて、しかもそのうち
の1700万トンを食べずに捨ててしまっている。
先進国全体では、サハラ以南アフリカの全食料
生産量とほぼ同量の食料(2.2億トン)を捨てて
いるのじや。

ナタリー：
飢え死にする人がいるのに、食べ物を捨てるなんて信じられない！



穀物か肉か

ジロー：

豊かな国の人には、なんでそんなに穀物を食べるんですか？

ドクター・ガイア：

豊かな国の人には、一人年間500kgから1tの穀物を消費しているけど、全て穀物のまま食べているわけじゃない。肉や乳製品としても摂っているんじゃない。

食肉用の牛や豚、鶏は、穀類を飼料として食べている。1kgの牛肉を得るには1.1kg、豚肉には7kg、鶏肉には4kgの穀類が必要なんじゃ。それでいて、肉1kgを食べて得られるエネルギーは1kgの穀類を食べたのと変わらぬのじゃ。

ナタリー：

肉を食べるって、何人分もの食糧を、一人で食べちゃうってことなのね。

ドクター・ガイア：

最近では、穀物の市場もグローバル化して、農家の人たちには、穀物を貧しい国に食糧として安く売るよりは、高く買ってくれる豊かな国に、飼料として売ってしまうのじゃよ。世界で生産される穀物のうち、約40%が、人の口に入らずに、家畜の飼料になってしまって。

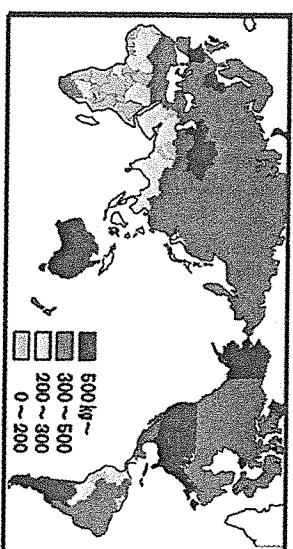
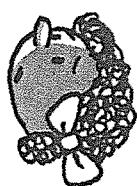
特にトウモロコシは、世界で8億t、生産されるんだが、その2/3、5億tが家畜のエサにされるのじゃ。

ドクター・ガイア：

それに最近ガソリンに代わるクリーンで安いエネルギーとして、どうもろこしなどの穀類から作られるバイオエタノールが注目され、どんどん自動車の燃料として使われるようになって、ますます穀類の値段が上がり、貧しい人々は、ますます穀類が手に入れにくくなったのじゃ。アメリカじやすすでに24%のとうもろこしがエタノール生産に使われている。

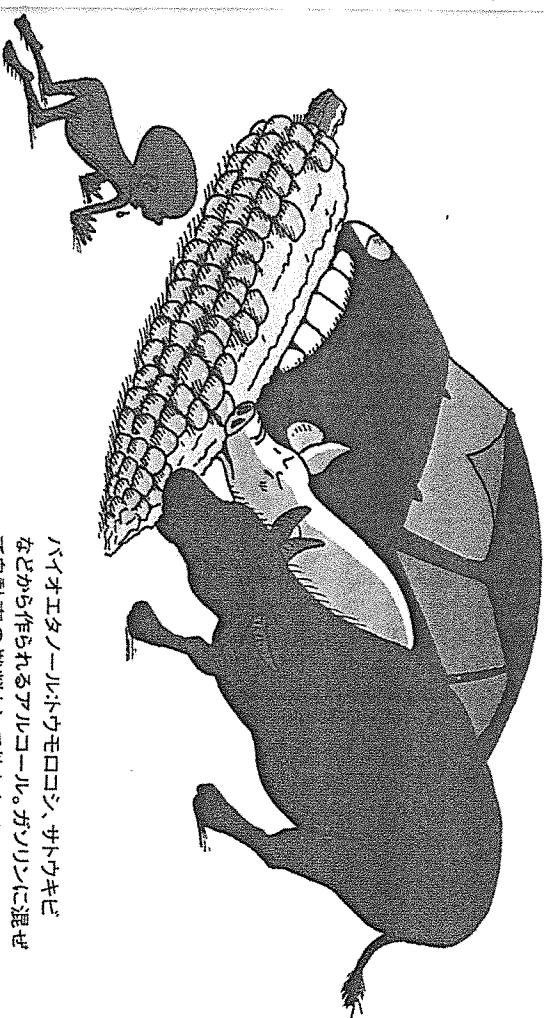
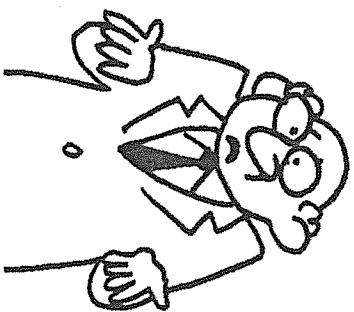
ナタリー：

動物とだけじゃなくて、自動車とも食糧を奪い合うようになったのね。ヒドイ！



世界の穀物消費量

バイオエタノールトウモロコシ、サトウキビなどから作られるアルコール。ガソリンに混ぜて自動車の燃料として使われる。



水問題

ドクター・ガイア：

人間は食糧ばかりじゃなく、一日に2㍑の水を摂らなければ生きて行けないのじや。

世界で5人に一人が安全な水を飲めない。1分間に2.8人、水が原因で子供が命を落としている。

飲料水以外にも、炊事、洗濯、風呂、便所用などの生活用水に100㍑以上必要なのじや。ほかに農業用水、工業用水も必要じやな。

ジロー：

日本人は風呂好きだから、きっと生活用水は一日100㍑じゃ足りないですよね。

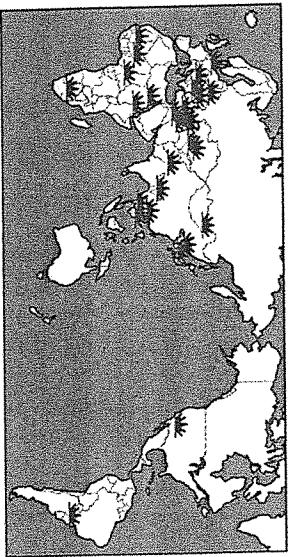
ドクター・ガイア：

そう、日本人は一日に245㍑も使う。使い過ぎじやな。ちなみにアフリカの平均は63㍑じゃよ。

地球は『水の惑星』と呼ばれているくらいだから14億立方kmも水がある。しかし、97.5%は海水だから使えないと。残りの水も、殆どが高山や北極、南極にある雪や氷だから水として使えるのはたった0.01%だけなんじや。

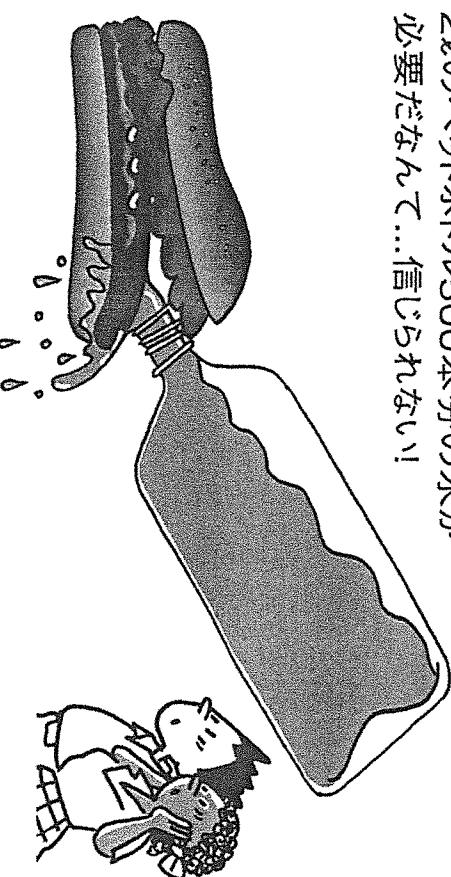
2025年には、人類は使用可能な水の90%を使うだろうと言われている。世界で水不足が深刻化すること

じやろう。特に、国境をまたいでいる川(国際河川)や湖では、水争い、が頻発、国際紛争に発展するじやろうな。



ナタリー：

あらー、このちっぽけなハンバーガーに、2㍑のペットボトル500本分の水が必要だなんて…信じられない!



ドクター・ガイア：

農業も、とてつもなく水を必要とする。

人間が使う水の70%は農業用なんじや。

ここにハンバーガーが一つある。このハンバーガーを作るのに、どのくらい水が必要じやと思うとる?

まず、このレタスを育てるのに2㍑の水が必要じや。パン用の小麦に72㍑。このひとかけらの牛肉を得るには、何と900㍑の水が必要なんじや!

ドクター・ガイア：

2030年までに、食料の需要が56%増大すると言われている。農地の拡大が急務じやがのう、慎重にやらないと地球環境を破壊して逆効果になる。

アマゾンのような原生林をもやみに開墾すれば、地球温暖化に拍車をかけるし、利用できる水にも限界がある。無理な灌漑をすれば、かえって砂漠化を招くことになる。アラル海を干上がらせてしまった、苦い経験もあるからのう。

ジロー、ナタリー：アラル海って？

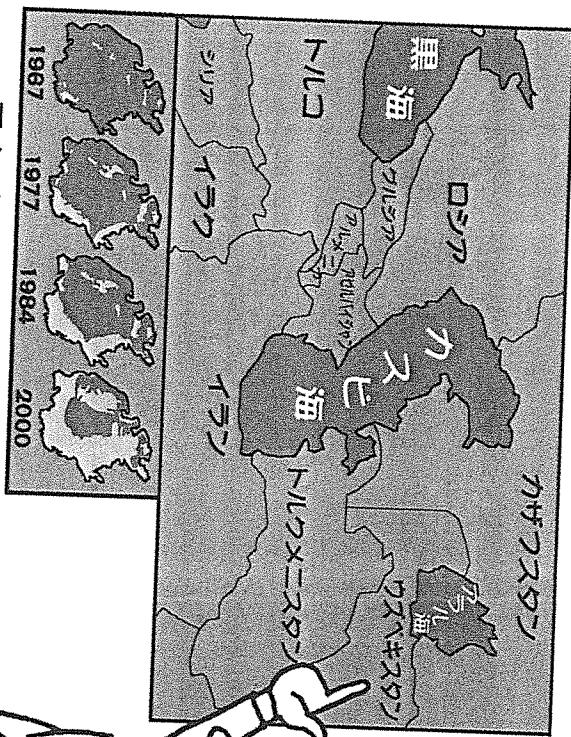
ドクター・ガイア：

カザフスタンとウズベキスタンの間にある湖じゃよ。50年前までは、北海道ほどの大きさの、世界で4番目に大きい湖じゃった。

周囲は森が抜がり、渡り鳥の飛来地で、虎や野生の馬などの大型ほ乳類もいたんじや。湖では大型船による漁業も盛んだった。

ところが、1960年代…ソ連時代に、アラル海に流れ込む川から大量の灌漑用水をとって、大規模に綿花の栽培をするようになつたのじや。

川から十分水が流れ込まなくなつて、アラル海はどんどん干上がつていつた。漁業は壊滅状態、大型の漁船は干上がつた湖に取り残され、『船の墓場』となつたのじや。



23

ジロー：

アラル海、船の墓場

それで綿花の栽培は成功したんですか？

ドクター・ガイア：

1980年代まではうまくいっていたんだが、90年代に入ると、畑から塩が浮き出してきた。昔は海底だったところじやからな。無理に灌漑したんで、毛管現象で地中から塩分が浮き出て来たんじや。こうなると作物はもう育たない。畑は放棄され、湖の干上がつたところと一緒に砂漠化した。住民は綿花の栽培、漁業という主要産業も無くし、砂漠化した土地から砂嵐となって飛んでくる塩で健康を害した。アラル海灌漑は『20世紀最大の環境破壊』と呼ばれ、反省の材料となつているはずだがな、アフリカのチャド湖も中国の黄河も、灌漑用水の取り過ぎで干上がつてきどる。地球の自然回復力を超えたムチャな開発をすると、環境を破壊し、人間を含めた全ての動植物に壊滅的打撃を与える。ひとたび破壊されると、環境は二度と元に戻らんのじやよ。



干上がるアラル海

24

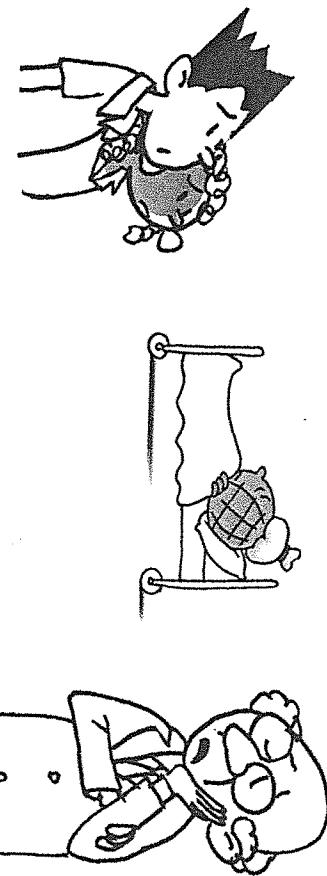
第2章

地球温暖化と異常気象

地球温暖化

ジロー：

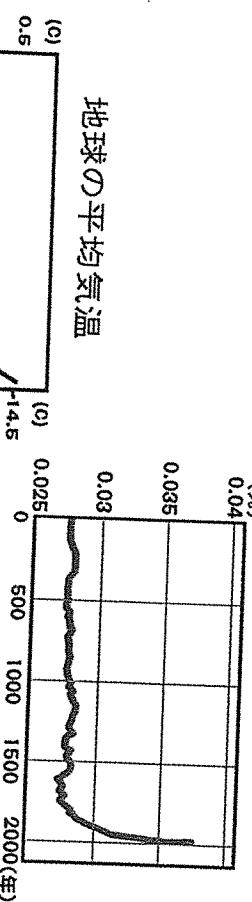
どうして地球の熱が下がらないんですか？



ドクター・ガイア：

人口が増えて、産業が盛んになり、大気中に人間の活動が排出する二酸化炭素ガス(CO₂)などの『温室効果ガス』がとっても増えたせいなんじゃ。

大気中の二酸化炭素濃度
（%）



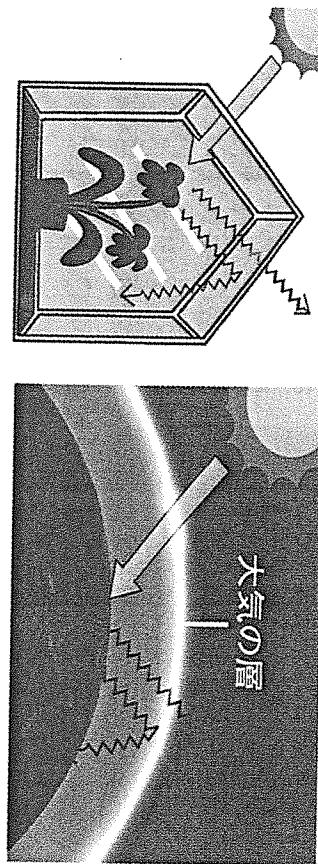
温室効果ガス
二酸化炭素(CO₂)が80%以上、
他にメタン、一酸化二窒素、
フロンなどがある。

ドクター・ガイア：

『温室』って知っているじゃろ？

ジロー：
寒さに弱い花や野菜を育てる、ガラスでできたハウスのことでしょ。

ドクター・ガイア：正解。



温室のガラスは太陽の光や熱を通すけれど、一旦ハウスに入った熱の一部は逃がさない。それでハウス内は外より暖かく保たれるんじゃ。このガラスの役目を大気中の二酸化炭素などのガスが果たして、地球を暖かく保っている…これを『温室効果』、これらのがスを『温室効果ガス』と呼ぶんじゃ。大気中に温室効果ガスが全くないとすると、気温はマイナス18度まで落ちてしまう。

18世紀頃までは大気中の温室効果ガスの量は丁度良く保たれていて、平均気温は14度くらいだったんじゃが、産業革命以降、特に20世紀の後半から、温室効果ガスはドンドン増え、地球もドンドン暖かくなつてきたのじゃ。

海面上昇

ナタリー：

前のページのグラフだと、地球の温度はこの100年でたった0.75度上がっただけですよ。なんで大騒ぎするんですか？

ドクター・ガイア：

たった0.75度の差で、世界の気象が狂ってきたのじゃよ。



まず、地球のクーラーの役割をしている北極、

氷河が溶けだした。北極の氷原がドンドン溶けて薄く、面積も小さくなり、

絶滅の危険 WWF Photo

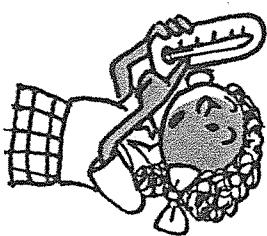
この40年で40%縮小したんじゃない。50~70年で全部なくなると考えられている。

北極の氷原でアザラシを追って生活しているホッキョクグマも絶滅が心配されているんじゃ。

南極の氷も溶けだした。2002年の2月だけで、東京の面積の1.5倍の棚氷が消滅した。北極の氷は海に浮いているから、溶けても海面は上昇しないんじゃが、南極や

グリーンランドは、大陸や島の上に氷が乗っているから、溶けた水は海に流れ込み、海面が上昇する。グリーンランドの氷が全部溶けると、

海面が7メートル上昇すると言われておる。



ナタリー：
海面が7メートルも上昇したら、いろいろな国や都市がなくなっちゃうじゃない！

ジロー：

低い土地が多いオランダやバングラデシュは大変だ！
ニューヨークや東京だってかなりの部分が水没するよ。

ドクター・ガイア：

この100年で、海面は17cm上昇したんじゃ。

すでに、南太平洋の島国ツバルは、国の7%が水没した。

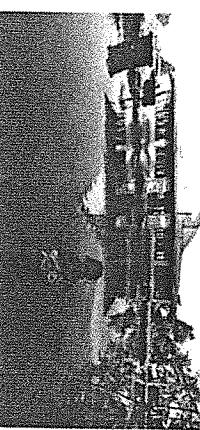
今のところ、南極、グリーンランドの氷が溶けたことより、温暖化による海水の膨張の方が、海面上昇に影響しておる。

ツバルの人は、島で生活

一ジーランドへ移住し始めた。

彼らのように、環境
々を『環境難民』と呼
が82cm上昇する
6千万人が環境難民

の悪化で移住を強いられた人
ぶんじゃ。今世紀末までに、海面
と言わておる。その結果、2億
になる恐れがあるんじゃ。



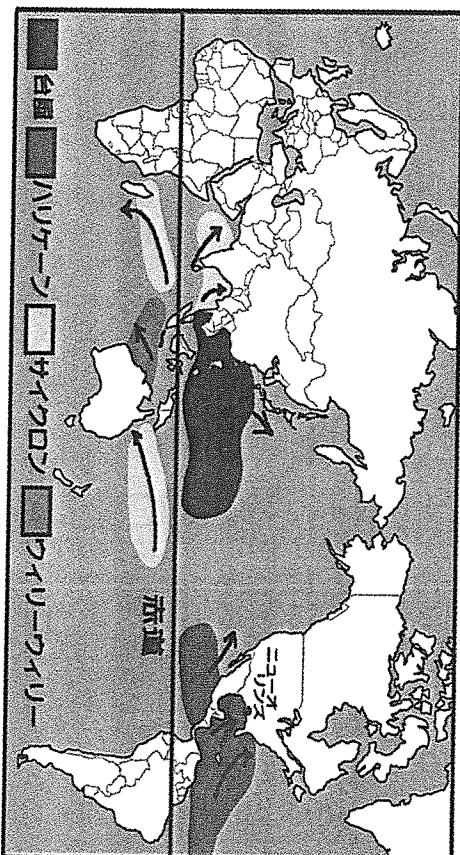
台風やハリケーンが強力になる

ナタリー：
そういえば、ニューオリン
ズの街が、水浸しになつた
写真を見たことがあるわ。



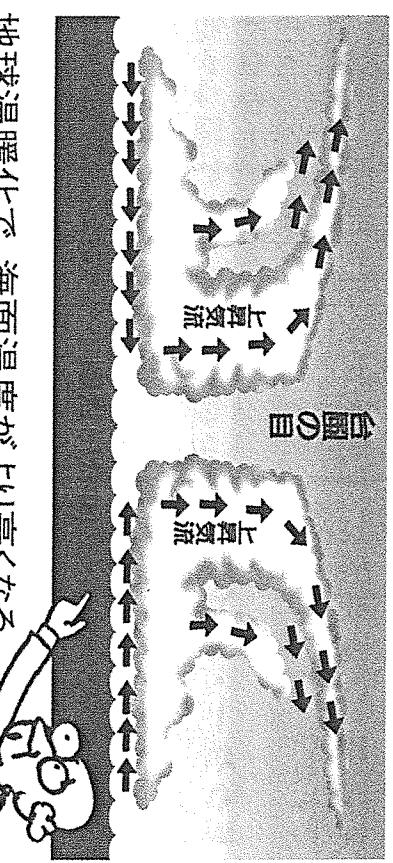
ドクター・ガイア：

あれは海面上昇ではなくて、巨大なハリケーンがニュー
オリンズ市を襲って、洪水になつた写真じやよ。
大気の温度が上がると、海面の温度も上がる。すると、
台風やハリケーンが頻発し、とてもパワフルになるんじや。

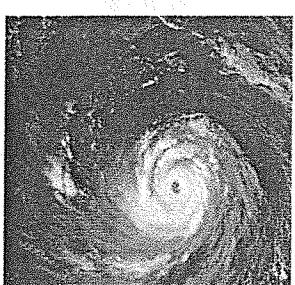


ドクター・ガイア：

夏に赤道を挟んだ海域の海面温度が上がると、その上に
ある湿った空気が温められ、膨張して軽くなり、上昇気流
になって上に昇る。この上昇気流が積乱雲(入道雲)を
生む。その積乱雲が赤道付近をいつも吹いている風の
影響を受け、大きな渦になつて回転し出す。
これが熱帯低気圧…台風やハリケーンになるんじや。



地球温暖化で、海面温度がより高くなる
と、より強い上昇気流が生まれ、より多くの
水蒸気が供給されるので、台風や
ハリケーンがより強力になるのじや。



その例が、2005年8月にメキシコ湾
で発生した大型ハリケーン『カトリ
ーナ』じや。

夏に、赤道付近の海面が高温になると、『熱帯低気圧』
が発生する。熱帯低気圧は生まれる場所により、『台風、
ハリケーン、サイクロン、ウリーウィリー』と呼ばれるん
じや。

カトリー

ナ
したんじや。

『カトリー』は大雨、大風でミシシッ
ピ河の堤防を決壊させ、ニューオリン
ズ市の80%の家屋が水没。死者
1800人、行方不明者700人、
120万人が他州などへ避難

大干ばつと大洪水

ドクター・ガイア：

海水温度の上昇は、台風やハリケーンを強力にするばかりでなく、大干ばつや集中豪雨による大洪水も引き起こすんじや。

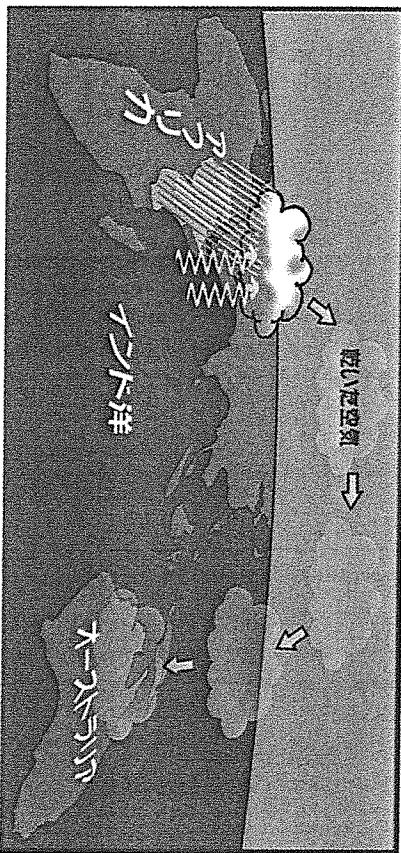
ジロー：

え～、干ばつと洪水!...正反対の災害を引き起こすんですか?

ドクター・ガイア：

まさしく『異常気象』じやな。

例えば、インド洋の西側で海水温度が異常に高くなると、水蒸気をタップり含んだ空気が上昇気流を起こし、大きな雨雲を発生させ、東アフリカに豪雨(大雨)を降らす。大雨を降らせたあとのカラカラに乾いた空気は、気流に乗ってオーストラリア、インドネシアまで運ばれて行き、大干ばつを引き起こすんじや。



ドクター・ガイア：

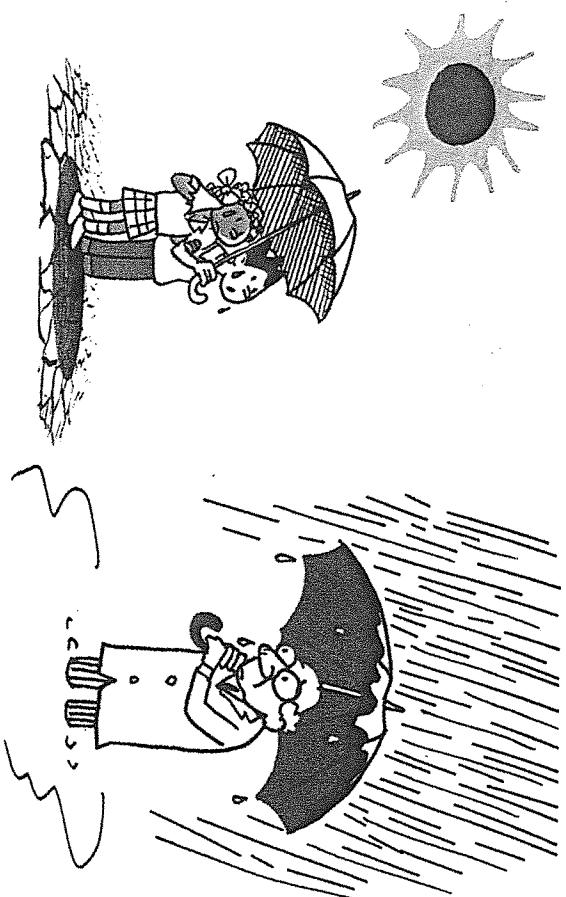
2007年、オーストラリアでは数年続く大干ばつで、穀物生産が40%減少したというのに、東アフリカでは集中豪雨による大洪水で、18カ国150万人が被災したんじや。世界中で、特に熱帯、亜熱帯で、降水量が減少しているにもかかわらず、同時に極端な豪雨に見舞われとるんじや。

ジロー：

農民は大変ですね。

ドクター・ガイア：

色々な国で、干ばつで食糧生産量が落ちている。雨が降っても、短期間に集中して降る豪雨では、溜めて農業に利用するのが難しい上、洪水になれば、畑は水浸しになって作物に被害が出る。更に、畑の土が洗い流されてしまうなど、踏んだり蹴ったりなのだ。



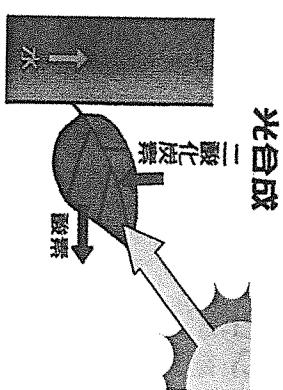
森林破壊

ドクター・ガイア：

世界の陸地の1/3が森林に覆われている。森林は、大気中の二酸化炭素を吸って、酸素を作ってくれる。理科で『光合成』という言葉を習ったじやろうが。

ジロー：

植物が二酸化炭素を吸収して、太陽光のエネルギーを利用して養分を作り、代わりに酸素を放出することで



ドクター・ガイア：

正解。植物は、人間の活動が排出する二酸化炭素をドンドン吸収してくれる。

ナタリー：

植物が吸收した二酸化炭素は、どうなっちゃうんですか？

ドクター・ガイア：

植物の幹や葉や実に炭水化合物として蓄えられるのじや。だから、植物を燃やすと二酸化炭素が出てくる。

石炭が大昔の木の化石だということは知ってるじやろ？石油、天然ガスも、大昔の動植物の死骸が、地中の圧力や熱で変化したものと考えられている。それで、これら石油、石炭、天然ガスは『化石燃料』と呼ばれている。

18世紀の産業革命以来、『化石燃料』が人間の経済活動の主なエネルギー源、燃料となっているのじや。化石燃料を燃やすと、当然二酸化炭素が排出される。

ドクター・ガイア：

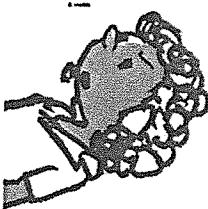
二酸化炭素を大量に吸収してくれ、温暖化にブレーキをかけてくれるのが森林だ。ところが、世界各地でその大事な森林が破壊されているのじや。

2000年から2010年の10年間、毎年、1300万ヘクタール…日本の面積の1/3の森林が

世界で失われた。主な原因は伐採と森林火災じやが、雷などによる自然火災は少なく、人の手によって火が着けられたものが多いのじや。

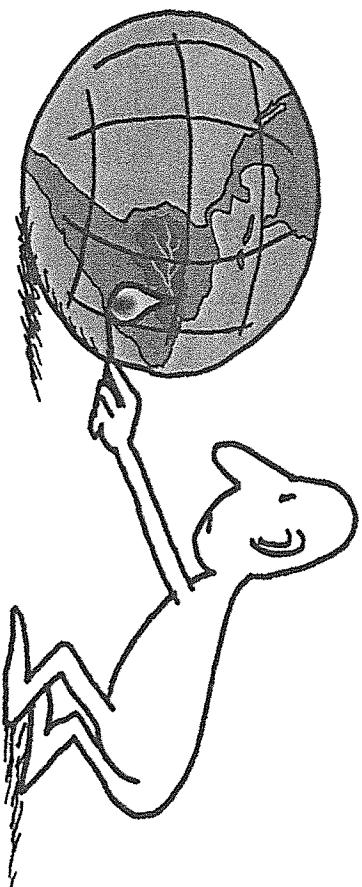
ナタリー：

どうして森に火を付けるの？ ダメ！

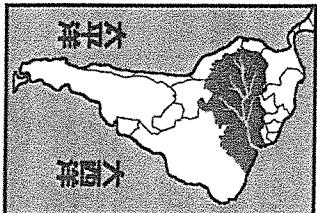


ドクター・ガイア：

『焼き畑』といって、森林を開墾して畑にするために火を付けるのじや。残った灰は肥料になる。アマゾンの例で説明しよう。



アマゾン



ドクター・ガイア：

アマゾンの熱帯雨林は、南米を流域に広がる森林じゃ。世界の森林の13%を占め、広さは日本の14倍、500万種の動植物が生息しておる。地球の酸素の1/3を供給し、二酸化炭素の1/4をアマゾンの森が吸収してくれると言われとる。

そのアマゾンの森が、伐採と焼き畑で、毎年300万ヘクタール近く失われている。一年ごとに長野県の2倍の広さの森が無くなっているんじや。

ジロー：

森を燃やすと、二酸化炭素を吸収してくれる森がなくなる。燃えて二酸化炭素を排出する…って、二重に温暖化を加速しますよね。貴重な森を燃やして、何を栽培するんですか？

ドクター・ガイア：

その時、世界で需要が高まっている作物じゃ。6、70年代は牛肉が求められていたので、牧場が作られた。90年代は大豆。2000年に入ってからはバイオエタノールの需要が増えて、原料のサトウキビ畑が作られているんじや。

ナタリー：

バイオエタノールって、二酸化炭素を増やさない、クリーンなエネルギーでしょ。それを作るために、二酸化炭素を吸ってくれる森を破壊するなんて、矛盾してるわ！

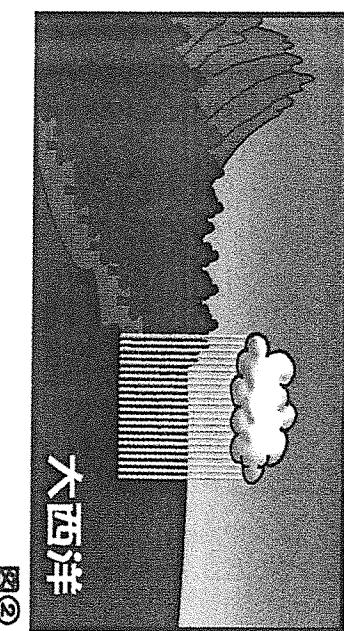
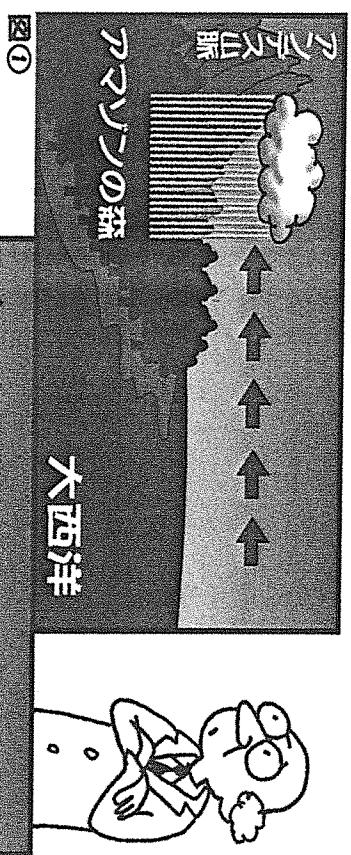
ドクター・ガイア：

ここに来て、地球温暖化そのものがアマゾンの森を破壊するのじゃないかという危ぐが出てきたんじや。

普通は、大西洋を渡ってきた湿った空気がアンデス山脈に当たって雨を降らせ、その雨がアマゾン川の水源になつて森を潤しているんじや。(図①)

ところが、温暖化で、ブラジル沿岸の大西洋の海面温度が異常に高くなると、その場で上昇気流がおこり、雨雲ができるで雨を降らせてしまう。アマゾンへは、雨を降らせた後のカラカラに乾いた空気が行くだけになってしまい、アマゾン川が干上がってしまうんじや。(図②)

実際、2007年には、アマゾン川の水量が大きく減少した。このまま温暖化が続けば、2100年にはアマゾンの森の2/3が砂漠化してしまうという予測も出てるんじや。



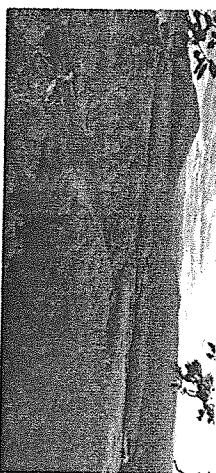
タイガ

ドクター・ガイア：

シベリアにある針葉樹林『タイガ』は、アマゾンより更に大きく、世界の森林の20%を占めている。このタイガも、火災と伐採と温暖化で危機的状況にあるんじゃ。



ジロー：
焼き畑ですか？



Taiga forest in Russia (ロシアの森林)
— ©WWFジャパン/Mutai Hashimoto

ドクター・ガイア：

いや、タイガでは『焼き畑』は行われないんじゃ。
気候が農作に適さないからな。

主に人間の火の不始末が原因の森林火災で、2002年には北海道ほどの広さ、2003年には、日本の半分ほどの広さが焼失した。タイガはあまりにも広く、消防に駆けつけようにも、道も水もないのに、一旦火事になると自然に鎮火するのを待つしかないんじゃ。

タイガは『永久凍土』と呼ばれる、地下100メートル以上にわたって一年中凍っている土地の上にある。砂漠並に少ない降水量(年200~300ミリ)にもかかわらず、凍土の水分で、なんとか森は生き延びているんじゃ。
ところが、凍土が温暖化で溶けだした。
凍土がないと、水分はドンドン地下深くしみ込んでしまって、

ジロー：
行き着く先は、アマゾンと同じ『砂漠化』ですね。

草原の砂漠化

ドクター・ガイア：

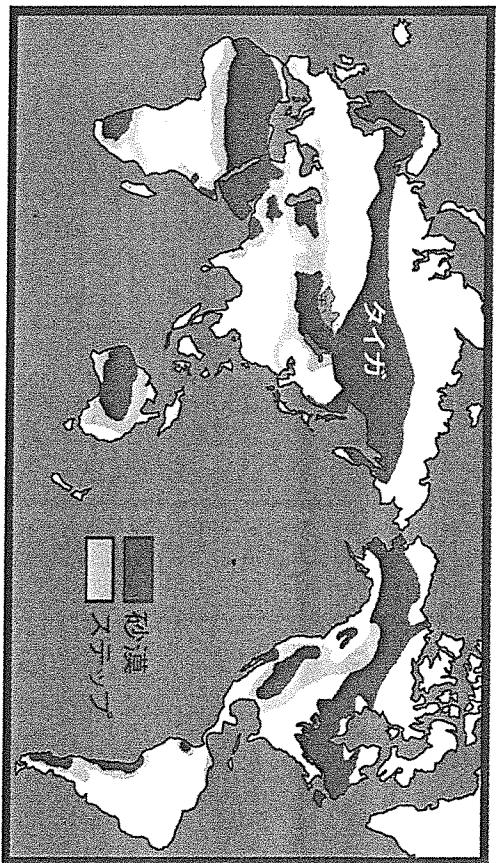
タイガの南にはモンゴルの広大な草原(ステップ)が拡がっている。
この草原でも砂漠化が進んでるのじや。



モンゴル草原での放牧

この草原では、羊や山羊などが放牧され、それが主な産業なのじやが、『過放牧』

…つまり、草原が養える以上の家畜を放牧すると、家畜が全ての草を根こそぎ食べてしまうので、草原が回復せず、砂漠化してしまうのじや。
干魃や降雨量の減少など、温暖化に伴う気候変化と、焼き畑、伐採、灌漑の失敗、家畜の過放牧など、人為的な原因で、アフリカ、中東、中国、モンゴルなど、地球の陸地の1/4、37億ヘクタールが既に砂漠なってしまい、10億人の人が苦しんでるのじや。



■ 砂漠
■ ステップ

京都議定書

ドクター・ガイア：

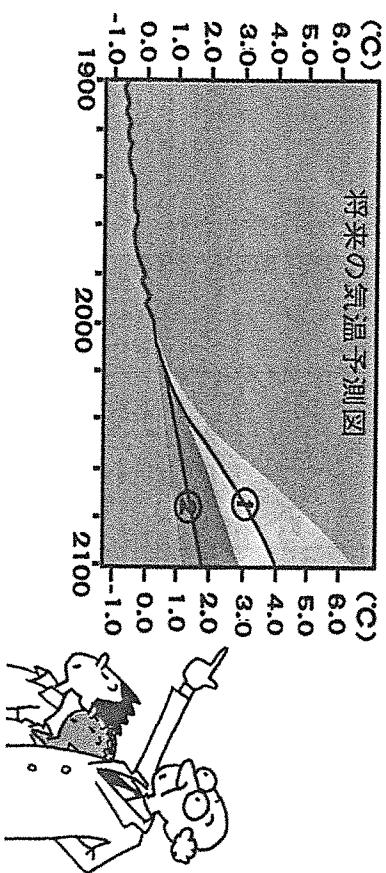
地球温暖化が環境に与える悪影響について色々話してきたんじやが…人間ばかりでなく、色々な動植物も気候の変動に適応できないで絶滅したり、反対に、熱帯地方の風土病が温帯地方にもはびこって来たり、温暖化によって地球全体の生態系も狂って来たんじや。

ジロー：

そりゃ、東京でも熱帯の植物、昆虫、鳥を見るようになったし、多摩川じや飼い主に捨てられた熱帯魚が自然繁殖して、住民に『タマゾン川』なんて呼ばれてますよ。地球温暖化は止められるんですか？

ドクター・ガイア：

国連が気象の専門家を集めて作った機関『IPCC（気候変動に関する政府間パネル）』が作った、将来の気温予測図を見てごらん。いい子モデルと、悪い子モデルがあるんじや。



ドクター・ガイア：

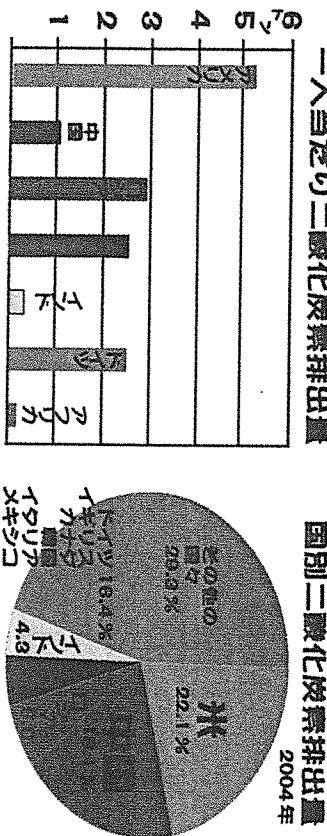
我々人類が、今そのまま化石燃料…石油や石炭に頼つて経済成長を続けた場合①、2100年までに気温は3度から5度上昇する。これが悪い子モデル。我々が厳しい基準を作つて、二酸化炭素削減に一生懸命努めた場合②、それでも2100年までに2度程度上昇する。これがいい子モデル。

ジロー：

5度も上がつたら、大変ですね。早く厳しい基準を作らないと。

ドクター・ガイア：

全くじや。2度以上上がつたら、台風、ハリーケーンの強力化、洪水、海面上昇、旱ばつによる食料不足、水不足など、人類は壊滅的な打撃を受けると言わわれておる。1997年に172カ国の代表が京都に集り、『2010年までに温室効果ガスの排出量を1990年より平均5%削減する』取り決めをした。これを『京都議定書』といふんじや。しかし、最大の排出国の中華人民共和国は、産業界の圧力で離脱。第2の排出国中国や、インドを含む発展途上国は、削減の義務を負わなかつたのじや。



COP(気候変動枠組条約締約国会議)

ジロー：
日本はどうなんですか？

ナタリー：
発展途上国に削減義務が無いのは当たり前よ！

先進国は産業革命以来、石炭、石油を使い放題、二酸化炭素も出し放題で産業を発展させ、豊かな生活を築いた。それで温暖化になんかなっちゃったんじゃない。

その間、発展途上国的人は、車もクーラーもない、貧しくつましい生活をしていて、温暖化の原因なんてほとんど作らなかった。
それが、これから産業を発達させ、豊かな社会を築こうって大事な時に、化石燃料の使用を制限されたりしたら、いつまでも貧乏から抜け出られないじゃない。そんなの不公平よ！

ドクター・ガイア：

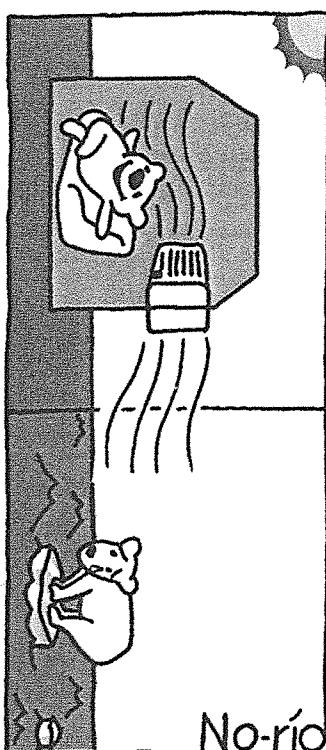
ナタリーの言うことも一理あるな。

大体、中国をはじめとする、経済成長がめざましい途上国はナタリーみたいな意見を言つとる。

ドクター・ガイア：
毎年、COP(気候変動枠組条約締約国会議)が開かれ、多くの国が参加して温暖化対策を話し合っている。その第15回国議(COP15)が、2009年12月にコペンハーゲンで190カ国が参加して行われた。日本は、2020年までに、1990年比、温室効果ガス25%削減という、意欲的な目標を発表したんじゃが… 実行できるか疑問視されている。京都議定書の2012年までに6%削減する目標は、なんとかクリアーできたのじゃがな。

2009年のCOP15の目的は、期限が2012年までの京都議定書に代わる、アメリカや、削減義務を負わない中国やインドなど途上国も参加する、新しい温暖化防止の枠組みを作ることだった。だが、中国の激しい反対で合意に失敗。「世界の気温の上昇を2度以下に押さえる」「先進国は途上国へ温暖化防止対策の資金援助をする」という、拘束力を持たない目標を立てただけでお茶を濁したんじゃない。

ドクター・ガイア：
途上国の人たちは、規制によって経済成長が妨げられる、規制によって経済成長が妨げられると、あまり積極的でない。その点、EU(ヨーロッパ連合)は積極的で、2020年には、1990年比20%削減の目標を掲げ、色々と具体的な政策を進めているんじや。



その後の国際交渉で、2020年までは京都議定書を延長し、2020年以降の枠組みは2015年のCOP21(パリ)で決められることになった。

温暖化防止策

ジロー：

気温上昇を2度以下に押さえるって…2度も上がったら、僕たちの子供や孫は、大変ですよね。

ドクター・ガイア：

まあ、2度上昇までは人類は何とか対応出来そうなんじゃ。ジローの言うように、次の世代が迷惑を被らない程度にこの地球の環境を保全する『持続可能な開発』を目指さないといかんな。

ジロー：

温暖化防止策って、具体的には何をするんですか？

ドクター・ガイア：

今、一番対策が進んでいるEU(ヨーロッパ連合)の取り組みを見てみよう。

EUは、次の3つの目標を立てているんじや。

① 2020年までに、2~30%の温室効果ガスを削減。

② 再生可能エネルギーの割合を20%まで引き上げる。

化石燃料は、掘り出して燃やしてしまえばいつかはなくなる資源(枯渇性エネルギー)。しかし、風力、太陽熱などはいくら使ってもなくならないので、『再生可能エネルギー』と呼ばれる。

ヨーロッパの国々は協力して、サハラ砂漠に巨大な太陽光発電所を作り、ヨーロッパの全消費電力の15%を賄う計画を立てている。

③ エネルギー効率を20%改善する。

例えば、ガソリン1ドルで10キロ走る車より、12キロ走る車の方が20%エネルギー効率が良い…つまり、20%資源、エネルギーの節約(省エネ)になる。

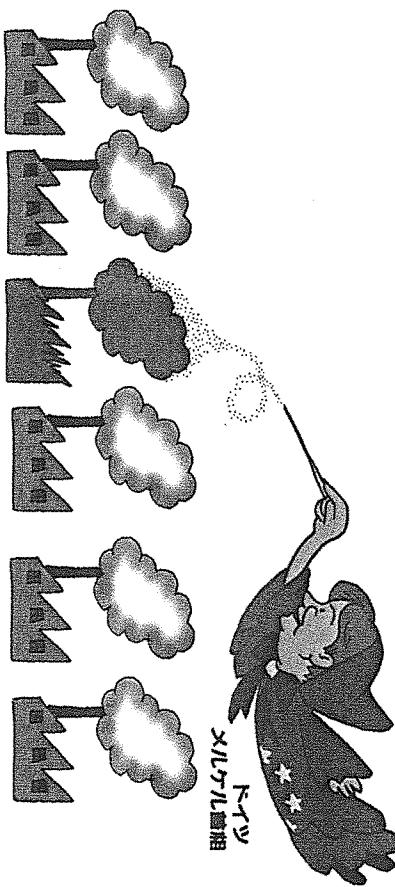
ドイツには、個人や企業が風力発電や太陽光発電で作った電気を、電力会社が高く買い取るシステムがある。

同じようなシステム持った国も他にあるのじゃが、ドイツのシステムは特に効果的で、『2010年までに、使われる全エネルギーの12.5%を再生可能なエネルギーにする』という目標を、早々と2007年に達成してしまった。2020年には30%にする目標じゃ。

また、石油や電気などに『環境税』をかけた結果、国民の車の使用が減って、自転車や電車の利用が増えるなど、生活が改善され、二酸化炭素排出量が5年間で3%も減ったのじゃ。

ジロー：

地球のどこもここも問題が一杯で、気持ちが落ち込んでいましたが、温室効果ガスの削減目標をキチッと立て、チャンと達成している国があると聞いて、ホッとした。



個人の対策

ジロー：

個人的に温暖化対策で出来ることはありますか？

ドクター・ガイア：

大きいにあるよ。

先進国に住む人間は、一人年間数トンの二酸化炭素を排出しておる。ドイツの例が示すように、全国民がなるべく車に乗らないようにして、電車か自転車を利用するとか、歩くように努めるだけで、国の二酸化炭素排出量が数%もちがってくるのじや。

次の三つのR...Reduce(減らす)、Reuse(再使用する)、Recycle(リサイクルする)…をキーワードに、我々の生活で何が出来るか考えてみよう。

Reduce(減らす)

- 自動車の利用を減らして、歩いたり自転車に乗つたり、電車などの公共交通を利用する。
- 冷房や暖房を、1~2度ゆるめの設定にする。
- なるべく地元で採れたものを食べる。
- 輸送にかかるエネルギーも大きいのだ。
- 省エネ電球や省エネ家電製品を使う。
- こまめに電気を消す。



Reuse(再使用)

○ペットボトル、アルミ缶入りの飲み物は買わずに、リターナブルびん(何度も使い回すびん)に入ったものを買う。

○持ち歩くときは水筒を利用。

○買い物にはマイバック持参。レジ袋はもらわない。

○使う時は頑丈なモノを買って、末永く使う。

○壊れたら修理して使う。

○生ゴミは肥料にする。

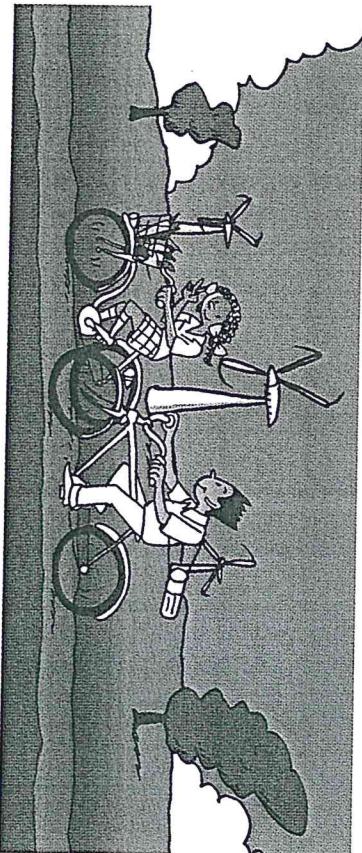
Recycle(リサイクル)

○ゴミはちゃんと分別して、ペットボトル、アルミ缶、ガラス。紙などは再生してもらう。

ちょっとと考えただけで、こんなに出てくる。
誰にでもすぐに出ることが多いじやろう。

Natsume:

『もったいない』の精神で、なるべくモノを『買わない、
買ったらとことん利用して、簡単に捨てない』ことね。



第3章 戦争と平和の配当

戦争と武力紛争

ジロー：
この赤い点々は何ですか？

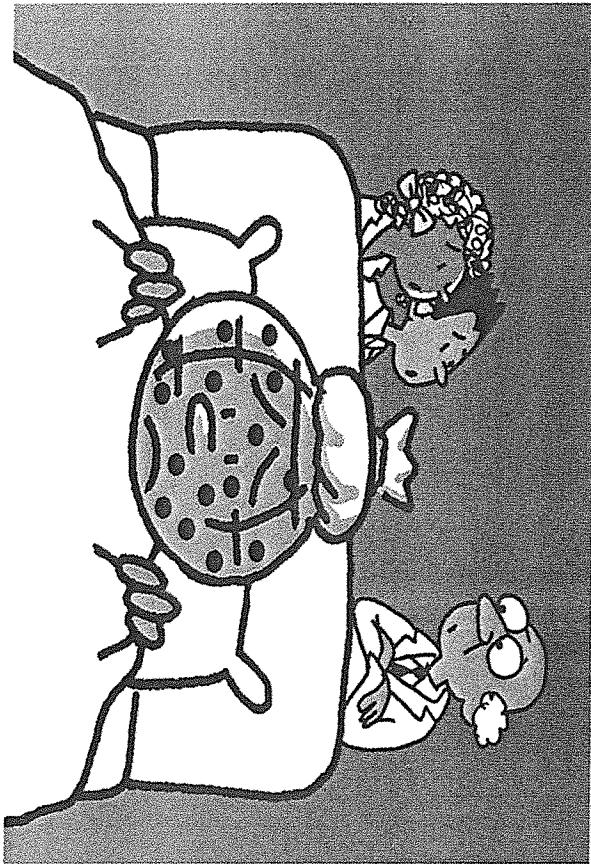
ドクター・ガイア：

戦争や紛争じゃよ。『戦争』は大規模な国同士の戦い。
『紛争』は民族や宗教など、国より小規模な単位での戦
いと考えられている。その差は曖昧じゃな。

戦争、武力紛争の数は、世界で40以上あると言われ、

23億を越える人々が巻き込まれているんじや。

戦争や紛争は、人の生命や生活を奪うだけでなく、
地球をも傷つける…最大の環境破壊行為じゃ。
敵をやっつけるためには、どんな環境破壊をもたらす
武器でもためらわずに使うからな。



ドクター・ガイア：

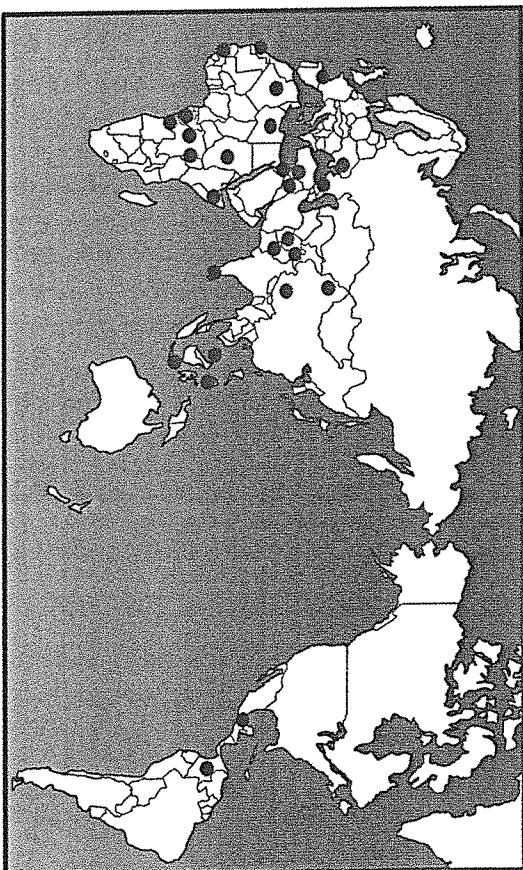
例えば、ベトナム戦争で使われた枯れ葉剤は、ベトナム
全土を汚染し、先天性障害をもつ子供が大勢生まれる
原因にもなった。湾岸戦争で破壊され炎上した油田は、
大気中に大量のCO₂を排出したばかりか、流失した
原油はペルシャ湾に広がり、生態系を破壊した…

ナタリー：

どうしてこんなに沢山戦争や武力紛争があるんですか？
それに、ドンドン広がっているみたい！

ドクター・ガイア：

人間はグループを作るのがとっても好きな動物じや。
何らかの共通点を見つけてはグループを作り、その共通
点を共有していない人達を『あいつらは俺たちと違う』と
差別したり虐待したりする。そこに、領土とか資源とかの
利害がからると、武器をとり戦争を起こすんじや。



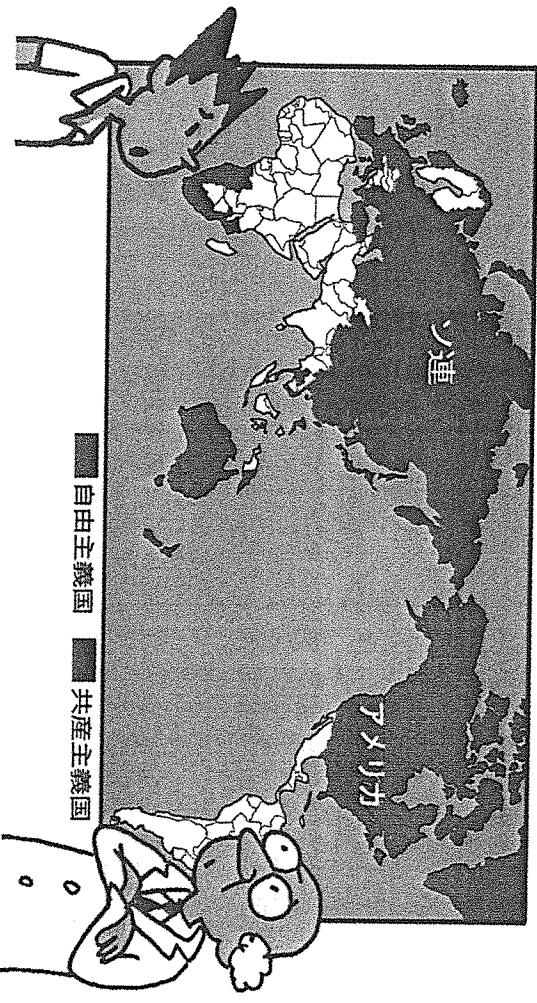
冷戦（1945～1991）

ジロー： どんな共通点や違いでグループを作るんですか？

ドクター・ガイア：

第二次大戦後は、戦争に勝った自由主義のアメリカと、共産主義のソ連（ソビエト連邦）がスーパーパワーや（超大国）になり、世界の国々が自由主義陣営と共産主義陣営に分かれて敵対した。

つまり、イデオロギー（主義）の違いで敵対したんじやな。アメリカとソ連は激しい核武装競争をして、人類を何十回も絶滅できるほどの核兵器を保有してしまった。その結果、米ソが直接戦えば人類が滅亡してしまうという恐怖から、米ソは敵対するけれど直接戦争できない状態になつた、この状態を冷戦というのじや。冷戦はソ連が崩壊する1991年末まで続いたんじや。



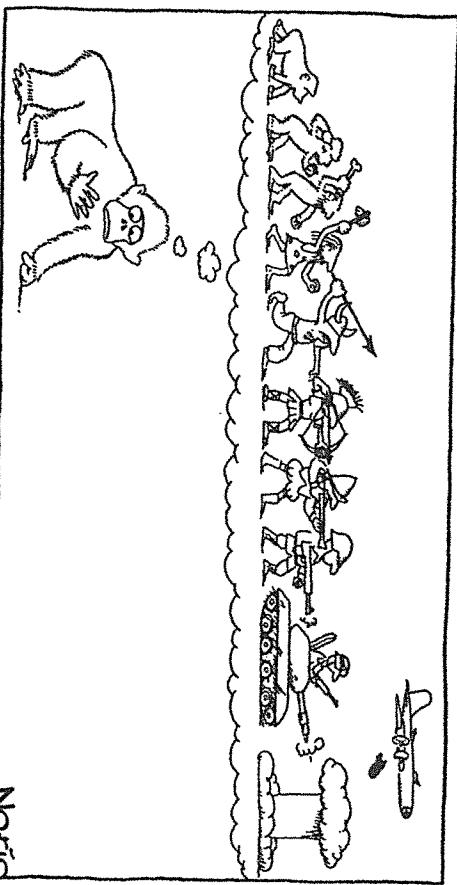
ナタリー： ジや、兵器を作りすぎちやつたんで、かえって戦争ができなくなっちゃつたってことね？ まるで喜劇じやない！

ドクター・ガイア：

米ソ間の核戦争こそなかつたけれど、アジア、アフリカ、中米などの国々では、通常兵器による両陣営の勢力争いの戦争や内戦が頻発したんじや。米に軍事援助された国やゲリラと、ソ連に援助された国やゲリラが、米ソに代わつて戦つた…それで『代理戦争』と呼ばれているんじや。自分の陣営に対する、米ソの見境のない武器援助で世界中に武器があふれてしまった。世界には5億5千万丁の銃がある。12人に一丁の割合じゃ。元々ソ連製のカラシニコフ自動小銃だけでも世界に一億丁あるんじやと。

ナタリー：

アフリカじや、ゲリラの少年兵までカラシニコフ持つってるワ!



民族紛争、人種差別

ドクター・ガイア：

1991年にソ連の崩壊で冷戦が終わると、冷戦が終われば世界はもっと平和になるだろうという期待に反して、世界各地で民族紛争が多発するようになつたんじや。

ジロー：

民族って何ですか？人種とどう違うんですか？

ドクター・ガイア：

『民族』は、言語や宗教、歴史や伝統などを共有すると考えられている人のグループじゃよ。世界には3000の民族があると言われておる。

冷戦時代、米ソ超大国の力で民族問題、宗教問題は押さえられていたんじやが、ソ連の崩壊で冷戦が終わると、各地で民族紛争や宗教紛争が一挙に爆発したんじや。

ジロー：

民族は3000もあるんですね？

国は200しかないっていうのに。

ドクター・ガイア：

殆どの国は複数の民族を抱えている。その中で一番力がある民族が、一番多數をしめる民族が政権を握るじやろ。

ある民族が、一番多數をしめる民族が政権を行い、少数民族の武器をとつて抵抗運動を起こし、政府を転覆させようとしたり、独立して自分達の国を造ろうとするんじや。また、大国が勝手に引いた国境線で、二分、三分された民族も多い。例えば、クルド人（約3000万人）は居住区がトルコ、イラン、イラクに分断されており、それぞれの国で統一独立運動を起こしているんじや。

ドクター・ガイア：

『人種』というのは、民族とは全く違った人間の分類法で、肌の色、髪の毛、骨格など、人間の生物学的特徴…つまり、主に外見で分けた人間の種類じや。

昔は、それぞれの人種の祖先は違うという『人類多起源説』が有力で、人種によって能力が違うと考えられ、その考えは人種差別(Racism)の正当化に使われてきた。しかし、今じゃDNAの研究が進み、人類の祖先は一つという『人類単起源説』がほぼ確実になつておる。すると、肌や髪の毛の形や色などは、暑いとか寒いとかの生活環境の違いで生まれた外見の差にすぎず、人種間に知能とか能力の差はないんじや。

ナタリー：

それなのに、アメリカや南ア（南アフリカ）じや、つい最近まで白人が黒人をスッゴク差別してたのよ。1960年代、アメリカの黒人牧師、マーチン・ルーサー・キングは、こうスピーチしたわ…これを聞くと、私涙が止まらないの。

私には夢がある

いつの日にか
私の4人の幼い子供たちが
肌の色によってではなく、
人となりそのものによって

評価される時がくるという夢が…



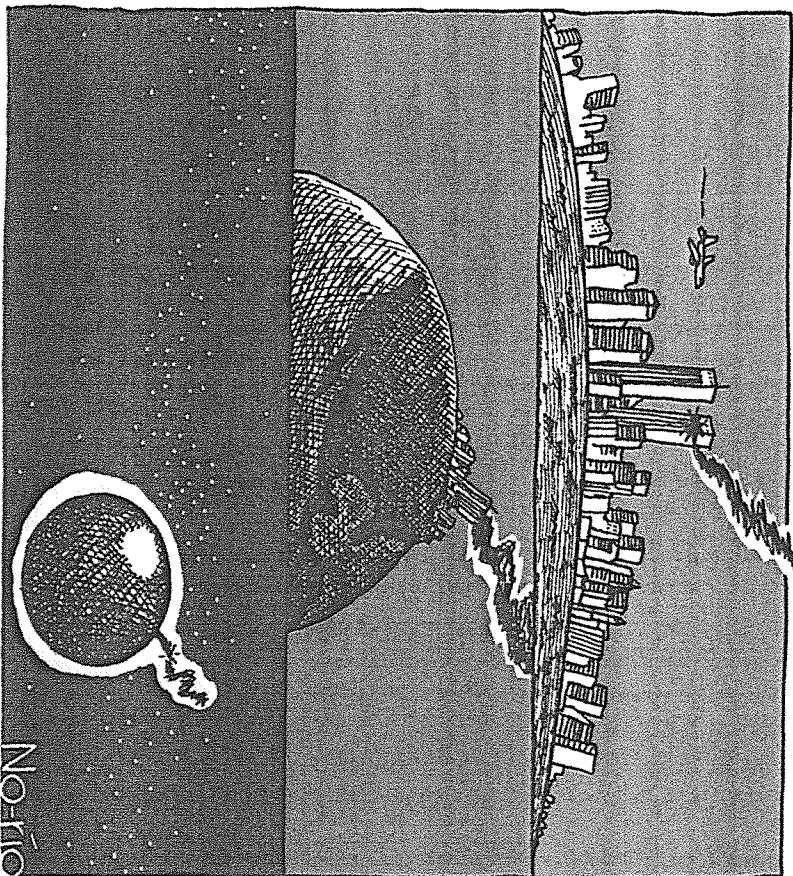
マーチン・ルーサー・キンギー牧師（1929～68）



テロとの戦い

ドクター・ガイア：

2001年9月11日、ニューヨークの貿易センタービルとワシントン郊外にあるペントAGON(米国防省)が、イスラム過激派『アルカイダ』の、ハイジャックした旅客機を使っての自爆攻撃に襲われ、3000人以上の犠牲者が出てたんじや。当時の米大統領ブッシュ(息子)は、『テロに対する戦争』を宣言し、『アルカイダ』の拠点があり、リーダーのオサマ・ビン・ラディンをかくまっていたアフガニスタンを攻撃したんじや。



ドクター・ガイア：

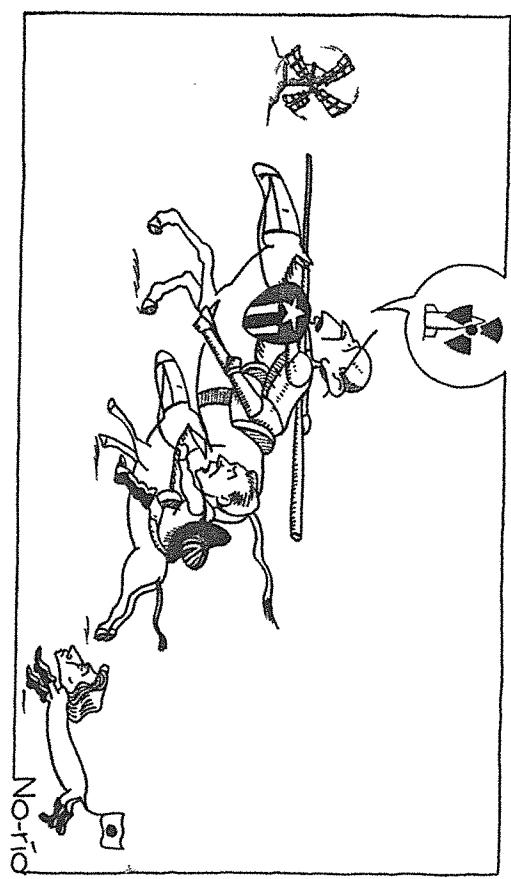
2003年、更にブッシュ大統領は、イラクの独裁者サダメ・フセインが大量破壊兵器(核兵器や生物・化学兵器)を持っているとの疑惑だけでイラクにも戦争を仕掛けたんじや。米のハイテク兵器を駆使した戦いにイラクは敗れ、数十万人の民間人も犠牲になつた。フセイン政権は倒れたが、いまだに大量破壊兵器のかけらも、フセインがアルカイダと提携していたとの証拠も上がっていない。また、民主主義政権を樹立しようという米の必死の努力にもかかわらず、いまだにアフガニスタンにもイラクにも安定した政権は確立しておらず、テロが多発し、戦争状態が続いているんじや。

ジロー：

ちゃんとした証拠もないのに、疑いだけで戦争仕掛けちゃつつけちやったんですか?

ドクター・ガイア：

この戦争以来、世界中のイスラム教徒は米や米に追随して戦争をした国々を憎み、イスラム過激派は世界各地でテロを起こしたんじや。



政教分離

ナタリー：

どうしたら人種差別とか、民族・宗教紛争はなくなるの？

ドクター・ガイア：

民族差別や人種差別の始まりは、他のグループの人との相違点を見つけ出して、『あいつらは俺たちとは違うんだ』と決めつけることなんじや。だから解決するにはその反対をすれば良い。他のグループの人との共通点を見つけ出し、『かれらも同じ人間なんだ』と認め、良き隣人として生活を共にし、つき合い、話し合うことじや。

ナタリー：

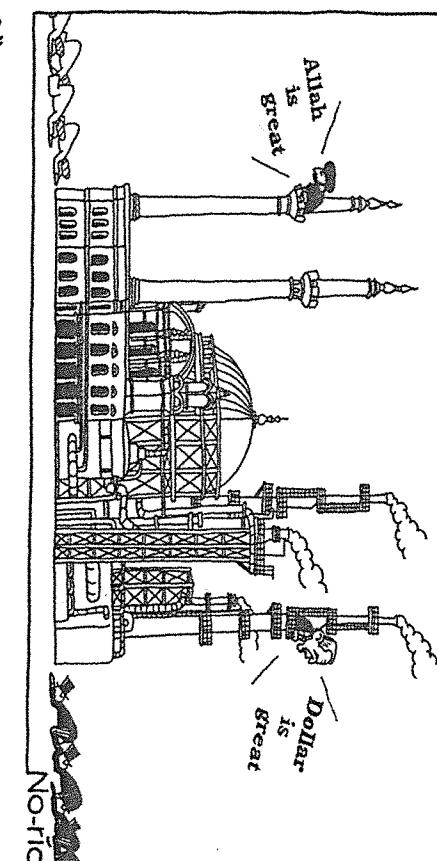
じゃあ、昔の南アみたいに居住区を分けたり、イスラエル・パレスチナみたいに分離壁を作って、敵対する2つの民族や人種の接触をなくしてしまうのは、かえって解決を遠ざけるわね。

ドクター・ガイア：

今、中東の多くの国は内戦とテロで大混乱なのじやが、その中で平和と民主主義を守っているトルコのやり方を学んでみよう。中東での紛争の原因は殆ど宗教なんじや。トルコ人の90%以上はイスラム教なんじやが、他にキリスト教徒、ユダヤ教徒などもいるし、20を越える民族があり交じって生活している。そんな複雑な情況の中で、平和と民主主義を守るために、トルコの憲法は『政教分离(世俗主義)』を謳っているんじや。政府が宗教を利用したり、宗教で差別したり、公共の場で特定の宗教を賛美したりするのを禁止している。一般の人々も公共の場で、宗教を誇示するようなことをしてはいけないのじや。例えば、議会や学校などで、イスラム教徒であることの象徴、スカーフを被ることや、もじやもじやのヒゲをたくわえることは禁止されている。イスラム教徒ならしなければいけない、1年に一回の断食も、やりたい人がするだけで、決して他人に強制はしない。断食月の最中でもレストランは営業しているよ。

ジロー：

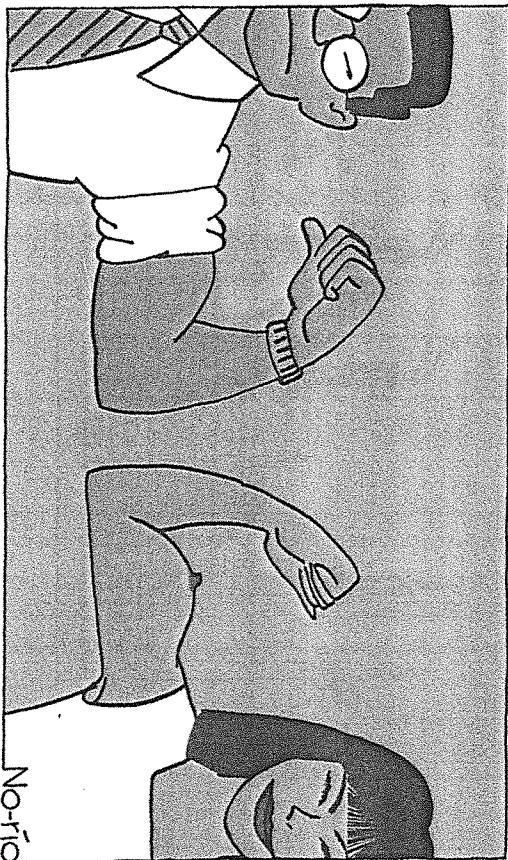
その点日本は宗教にはとても寛容ですよ。



僕の街は人口約18万人、ほとんど仏教徒です。カトリック、プロテスrant合わせてキリスト教会が5、6軒あるから最低1000人はキリスト教徒がいるんでしょう。でも、差別は全くありません。だいたい、誰がキリスト教徒か知らないんです。同じ日本人だから、外見からも、服装からも判断できないし、必要もないのに、『宗教は何?』なんて聞いたことないんです。日本では、隣人の宗教が何か知らずに生活していても全く困らないし、問題も起こりません。僕とナタリーは、国籍も宗教も人種も民族も違いますが、とっても仲がいい友達です。一緒に食事をすると、ナタリーはお祈りを始めるし、僕は合掌して『いただきます』と言います。食事をする時には神や自然に感謝する…『宗教、人種、民族は違つても、人間皆することは同じなんだな』って、いつも感じます。

ナタリー：

日本人って、多くの人が子供が生まれたら神道の神社にお参りする。結婚式は、ロマンチックだからと言ってキリスト教徒でもないのに教会で結婚式をあげ、死んだら仏教のお寺でお葬式をするでしょ…『宗教に寛容』ってよりは『ルーズ』なのよ。でも、他の国では『宗教が違う』って殺し合ってるってのに…素敵なルーズさだわ!



あらゆる差別に反対する

ナタリー：

差別って、別に人種や民族に限ったことじゃないのよ。女性も差別されてるわ。私の故郷のサヘル地方(サハラ砂漠南縁部)じゃ、水汲みは女、子供の仕事。遠い水場まで行って重い水を一日何度も運ばなくちゃいけないの。それで学校に行く暇なんてないのよ。

ドクター・ガイア：

イスラム世界は男性中心で、いまだにイスラム法に忠実な国では女性は差別され、色々な制約を受けているな。女性に教育など必要ないと考える男性イスラム教徒も多く、パキスタンの少女、マララ・ユスフザイさんは女性が教育を受ける権利を訴えただけで、イスラム過激派タリバンに襲われ、頭を撃たれたんじや。

ジロー：

その人知っています。2014年にノーベル平和賞をもらった17歳の少女ですよね。日本の教育では特に女性が不利ということはありません。いまだに日本社会は男性優位で女性の管理職、国会議員、大臣の割合は、他の先進国と比べてとても低いんです。

ナタリー：

日本は少子化で、将来大変だって盛んに騒いでるのに、女の人が子供を育てながら働くのは、大変なの。女性の政治家や大臣が少なかつたんで、女性の身になって施設や制度の整備に力を入れる政治家がいなかつたのね。それから、私が感じるのは、同性愛者、障害者、私みたいな外国人、在日朝鮮人など、少数派の人々に日本は優しくない社会だと思うわ。

ドクター・ガイア

確かにそうじや。日本社会には女性や少数派に対する差別があるな。国会議員や大臣、会社の役員などの女性が占める割合をあらかじめ決めてしまう『クオーター制』や、少数民族の人の入学、就職などを優先にする『アファーマティブ・アクション』の導入が必要じやな。少子化、老齢化が進む日本では、女性や外国人労働者の力をもっと有効に活用しなければいけないのじや。

動物に対する差別

ジロー：

僕は動物に対する差別が気になります。歐米人は人間は動物じゃないと考えていますよね。動物は神が人間のために造ったものだとも…

僕達日本人は、自然の中に八百万の神(色々な神さま)を見い出す神道と、仏教の影響だとと思うんですけど、動物と人間の間に境はない…人間も動物だと考えています。

ナタリー：

だって、『輪廻』を信じていて、死んだら動物に生まれ変わることも知れないと信じているんでしょ?

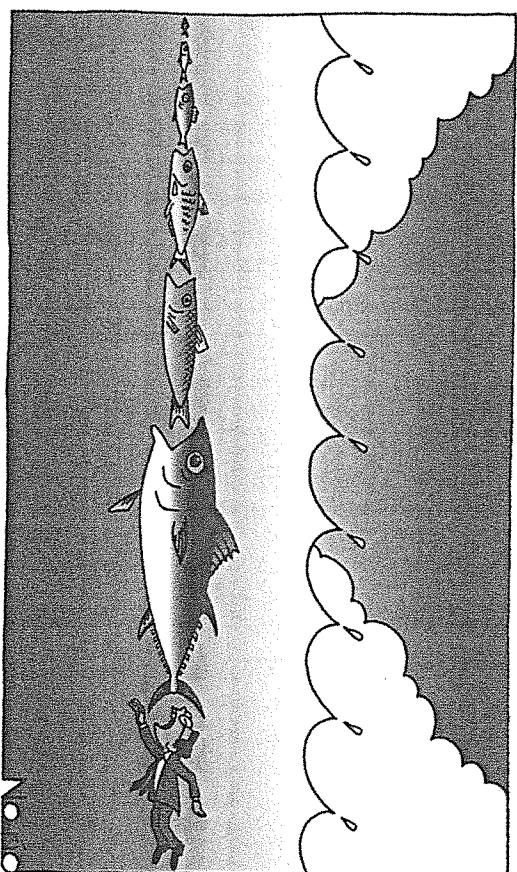
ジロー：

『輪廻』は信じてないけど、死んだら僕の体は土になって、植物の養分になる…その植物を動物が食べて動物の体になる…って、エコロジカルなサイクルは信じてるよ。

ドクター・ガイア：

モーゼが神からもらった『十戒』は『人は殺すな』って言っているんじやが、仏教の『五戒』は『あらゆる生き物は殺してはいけない』と言ってる。昆虫、植物を含めて、あらゆる『命』は同等に大切なんじや。

しかし、人間が生きるために何かの命を奪って食べなきゃいけない。そこで、植物だけ…穀類、野菜、豆類などは食べることを許されてるんじや。基本的に仏教徒は菜食主義者でなければいけないんじやが、地域や宗派によって食べることを許されているものが違う。日本では、お坊さん以外の庶民には、海の幸と鶏を食べることは許されていたんじや。牛などの肉を食べるようになつたのは、明治になって西欧人がやって来てからじや。



ナタリー：

でも、日本人はマグロ、うなぎなんか食べ過ぎよ。マグロなんか、世界の漁獲量の1/4も食べちゃうんだから。

ジロー：

確かに。種を保存するためには、もっと食べるのを控えなきゃね。

でも、『クジラは頭がいい動物だから殺して食べるのは残酷だ』って理屈は分からないよ。人間と動物の間に差がないように、動物の間にも差はないんだ。だから、人間が人間だけの価値基準で、ある種の動物だけ保護するってのは、どうかと思うよ。人間を含めた生態系全体を保全するとか、共生するとかの視点が必要だね。

ドクター・ガイア：

種の保全という意味からも、食料の公平な分配という点からも、菜食主義をもう一度見直す必要があるな。

民族融和

ドクター・ガイア：

不幸にして民族・宗教問題、人種問題で武力衝突が起こった時には、『絶対に報復しない』ということが解決のポイントなんじゃ。報復は新たな報復を呼び、どんどんエスレートし、戦いがエンドレスになってしまふからな。

ナタリー：

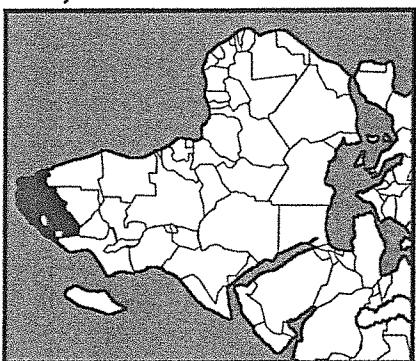
それは、理想論…現実では報復をやめさせるのは無理よ!

ドクター・ガイア：

しかし、それを実現した人がいる。南アフリカ(南ア)のネルソン・マンデラじゃ。当時南アはアパルトヘイト政策をとり、白人が黒人をひどく差別していた。マンデラは反アパルトヘイト運動のリーダーで、白人政府に捕まり、終身刑の判決を受け、27年間も監獄に入れられていたんじゃ。

マンデラの反アパルトヘイト運動は、国際社会の支持を受け、1991年にアパルトヘイトを廃止させることに成功し、マンデラは93年、ノーベル平和賞を受賞する。94年、全人種が参加する選挙が行われ、マンデラは南ア初の黒人大統領に選ばれた。

大統領になると、マンデラは全国で『真実和解委員会』という集会を開いた。外見は裁判のようじやが、被害者の前で加害者が罪を告白し、許しを請うといいうものだった。差別、虐待の真実は明らかになるが、加害者は許され、罰は与えられなかつた。報復裁判ではないんじや。その後黒人と白人の格差は縮小し、融和も徐々に進み、大規模な報復合戦は起こっていないのじやよ。



ナタリー：
マンデラって偉大なのね!

ジロー：

日本は米と熾烈な太平洋戦争(1941~45)を戦い、最後には広島、長崎に落とされた原爆で、一般市民20万人近くの人々が殺され、

その後降伏しました。

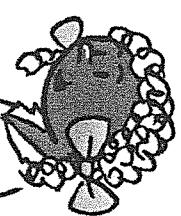
でも、今では米は日本の最良のパートナーだし、核兵器に反対する運動はあっても、原爆を落とした米政府やパピロットに報復しようなんて動きは全くありませんよ。

ナタリー：
多くの国民や民族にとって、戦争の記憶はとっても重たくって、消せないものよ。日本人が原爆投下に対して、全く復讐心を持っていなってことを理解できる人は少ないと思うわ。

差別した、されたといった過去は消せないが、互いに許しあつて行こう。必要なのは「融和」なのだ。



マンデラ
前南アフリカ大統領
(1918~2013)



■ 唯一の被爆国日本、脱原発へ

ジロー：

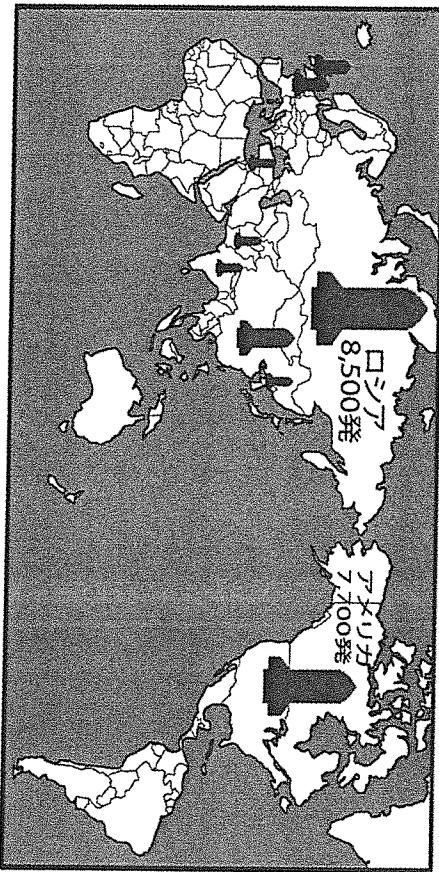
第2次大戦末期、米軍に広島と長崎に原爆を落とされ、20万人の人が亡くなつたって話はしたよね。おまけに2011年3月11日、東日本を襲った大地震とその津波にやられて、福島第一原子力発電所(原発)が爆発、メルトダウンするっていう重大な事故を起こしたんだ。放射能で汚染された原発から半径20kmは立ち入り禁止になり、10万人の住民が避難を余儀なくされた。それで、まだに自分の家に帰れない人も大勢いるんだ。農地や海も汚染され、農業も漁業もすごい被害を受けてるんだよ。こんなにひどい核の被害を2回も受けた国民として、世界に核兵器廃絶を訴え、原発に反対するのは義務だと思うんだ。54%の国民が原発の再稼働に反対してた。賛成はたった27%。それなのに、日本政府は原発を再稼働し、外國にまで日本製の原発を輸出しようとしているんだ。『重大な事故を経験して日本製原発はより安全になりました』なんて言ってね。

ナタリー：

核兵器は世界にどれくらいあるの？

ドクター・ガイア：

アメリカ、ロシアなどの国に、合計17,300発もあるんじや。

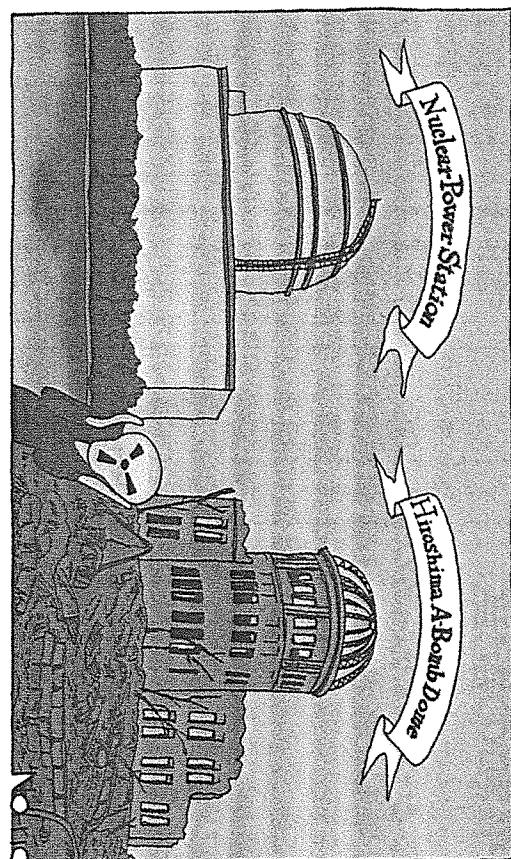
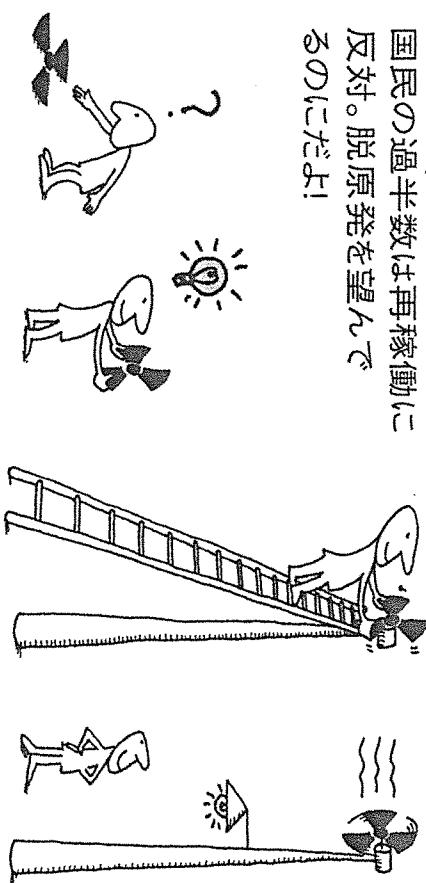


ナタリー：

原発は日本にどれくらいあるの？

ジロー：

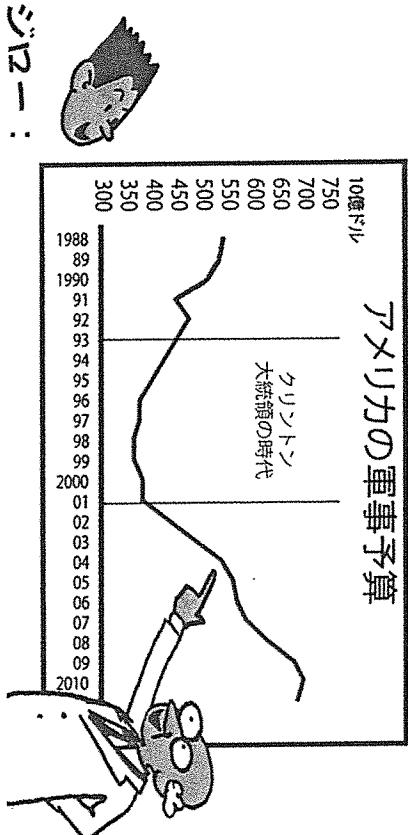
17カ所に48基あって、今は全て稼働していない。日本政府は、安全性を確認した原発から順次再稼働させると言ってる。国民の過半数は再稼働に反対。脱原発を望んでるのにだよ！



平和の配当

ドクター・ガイア：

『平和の配当』という言葉を聞いたことがあるかのう？
冷戦が終わり平和になれば真大な軍事予算を削ることが
でき、その分福祉や経済に回せば景気が良くなり社会が
豊かになるだろうと考えられていたんじや。これが『平和の
配当』じや。実際、1991年に冷戦が終り、クリントン
大統領の時代(1993～2001)になると、軍事費を削減
することができ、またインターネットやGPS(衛星を使って
地球上の位置を知るシステム)などの軍事技術を民間に
開放した結果、IT産業(コンピューターがらみの産業)
がブームになり、米経済を引っ張った。御陰で景気は良くな
り、長年続いた財政赤字も解消できたのじや。



ジロー：

アッ、それ日本の戦後に似てますね。

戦後作った憲法の第9条で「戦争を放棄」した結果、
軍隊がなくなり、軍事に使っていた予算を復興や産業の
発展に使うことができた。また、軍需産業がなくなつたんで、
軍の優秀な技術者が民間企業に移った…零戦なんかの
飛行機を作った技術者は自動車業界に行つたし、ソニー
は海軍技術者が作った会社ですよ。日本の戦後の『奇
跡の経済復興』は憲法で戦争を放棄した『平和の配当』
がもたらせたんですね。

ドクター・ガイア：

戦争は非常に高くつくんじや。しかも、問題解決手段として誠に非効率なんじやよ！2001年以来、米はアフガニスタン、イラクでの戦争に300兆円(3兆ドル)を使ったといわれておる。6765人の米兵の命も失なつた。現地の数十万の民間人の命も奪われた。しかし、米の必死の努力にもかかわらず、13年たつた今でもアフガニスタン、イラクでは民主的政府は樹立しておらず、テロが横行し、戦争状態が続いているんじや。冷戦集結直後は世界各国で軍事費が削減され、平和なムードに満つたものじやが、2001年以降各国の軍事費は冷戦時並みに戻り、今じゃ世界の軍事費は年間180兆円(1.8兆ドル)。そのごく一部を流用すれば、世界の不幸は殆ど救われるのに！

- 途上国の温暖化対策費用 5兆4,000億円 8,700億円
 - 世界中の砂漠化防止 9,000億円
 - 世界中の子供に安全な水を 2兆円
 - 世界中の飢餓を根絶する 2兆7,000億円
- まだまだ、いけるじやろ。君たち若い世代が、是非とも平和を構築し、その配当で地球を幸せにして欲しいものじや。

ジロー、ナタリー：まかしといて！





地球憲章 *The Earth Charter*

持続可能な未来に向かっての価値と原則

前文

私たち人類は今、自分たちの未来を選択しなければならないという、地球の歴史上重大な転換点にさしかかっている。

世界がますます相互依存を強め、他からの影響を受けやすくなるにつれて、未来には大きな希望と同時に、大きな危機が存在している。私たちが未来に向かって前進するためには、自分が未来に多様性に満ちた文化や生物種と共存する、ひとつの人類家族であり、地球共同体の一員であるということを認識しなければならない。自然への愛、人権、経済的公正、平和の文化の上に築かれる持続可能な地球社会を生み出すことに、私たちはこそって参加しなければならない。そのためには、地球上で生をいとなむ人間として、私達は互いに、より大きな生命の共同体に、そして未来世代に対して、責任を負うことを見らかにすることが必要不可欠である。

私たちのすみか、地球

人類は広大な、進化しつつある宇宙の一部である。私たちのすみかである地球には、たぐいまれな生命共同体が共生している。自然の偉力は、生き抜くことを困難で予想し難いものにしているが、同時に、地球

は生命の進化に必要不可欠な環境条件をもたらしてくれている。生命共同体の活力と人類の幸福は、実に様々な動植物、肥沃な土壌、清浄な水、そして澄んだ空気など、すべての生態系を含む健全な生物圏を維持することにかかっている。限られた資源しかしない地球の環境は、全人類にとって共通の関心事である。地球の生命力、多様性、その美しさを保護することは、人類に課された神聖な義務である。

地球の状況

これまで行ってきた生産と消費の仕方は、環境の荒廃、資源枯渇、種の大量の絶滅を引き起こしている。地球共同体が損なわれている。開発の恩恵は平等には分配されていず、貧富の差が広がりつつある。不正、貧困、無知、そして暴力を伴う争いが広がり、人々に大きな苦しみを与えていた。更に、かつてない人口増加は、生態系と社会システムへの重荷となってきた。地球の安全が根底から脅かされつつある。これらは危険な兆候である。しかし、避けられないことではない。

私たちが直面している課題

地球規模のパートナーシップを形成して地球と人間を大切にする生存への道をとるのか、それとも、人類や生命の多様性の破壊に加担する道をとるのか、選択するのは私たち自身である。私たちの価値観、社会の仕組み、そして生活様式を抜本的に変えることが迫られている。私たちは、基本的ニーズが満たされている生活の中であって、人類の発展とは、私たちが人間的

により成長することであり、必要以上に物を所有することではないことをはつきり理解すべきである。私たちは、すべての人々に必要な物をもたらし、しかも環境負荷を減らすことができる知識と技術を持つて

いる。地球市民社会の出現で、民主的で人道的な世界が築かれる新たな機会がもたらされている。私たちの環境面、経済面、政治面、社会面、そして精神面の課題は互いに関連しあっており、私たちは共に包括的な解決を生み出すことができる。

地球的視野に立った責任感

こうした希望を実現するために、私たちは地域共同体だけでなく、地球共同体全体の中の一員であることを考え、共通の責任感を持って生きる決意をしなければならない。私たちは、それぞれの国の市民であるとともに、地域と地球がつながっている「ひとつの世界」の市民でもある。すべての人が、人類家族と生き物全体の現在と未来の幸福に、責任を分かち合っている。存在の神秘に対する畏敬の念、授かった生命への感謝の気持ち、そして、森羅万象の中で、人類はいかに小さな存在であるかという謙虚な気持ちを抱いたときに、人類は強く団結し、すべての生命との一体感も強まる。

私たちは、いま生まれつのある地球共同体のために、倫理的基盤となる共有の価値観を、早急につくらなければならぬ。それゆえに、持続可能な生活のための、互いに関連し合う以下の諸原則が、すべての個人、団体、

企業、政府、国際機関の行動を導き判断する規範となることを、希望を込めて、私たちは確認する。

本文

1. 生命共同体への敬意と配慮

1. 地球と多様性に富んだすべての生命を尊重しよう。

- 生きとし生けるものは互いに依存し、人間にとつての利用価値とは無関係に、それぞれが価値ある存在であることを認めよう。
- すべての人が生まれながらに持っている尊厳と、人類の知的、芸術的、倫理的、精神的な潜在能力への信頼を確認しよう。

2. 理解と思いやり、愛情の念をもって、生命共同体を大切にしよう。

- 自然資源を所有、管理、利用する権利には、環境への害を防ぎ、人々の権利を守る義務が伴うことを受け入れよう。
- 自由、知識、権力は、その大きさが増せば増すほど公益推進への大きな責任が伴うことを確認しよう。

3. 公正で、直接参加ができる、かつ持続可能で平和な民主社会を築こう。

a. すべての地域社会において、人権と基本的自由

を保障し、男女を問わずすべての人に、可能性を充分に活かせる機会を与えるよう。

b. すべての人が環境に配慮した形で、安全で有意義な暮らしができるよう、社会的、経済的公正さを推進しよう。

4. 地球の豊かさと美しさを、現在と未来の世代のために確保しよう。

a. それぞれの時代に享受できる行動の自由は、未来

世代のニーズによって規制されることを認識しよう。

b. 次の世代に、人間を含む地球上の、生きとし生けるものの長期にわたる繁栄を支える価値、伝統、しきたりを伝えていこう。

以上、4つの大きな決意を実行に移すために、以下の諸原則が必要です。

II. 生態系の保全

5. 生物の多様性と、生命を持続させる自然のプロセス

に対して、特別な配慮を払いつつ、地球生態系全体を保護し回復させよう。

a. すべての開発構想に環境の保全と回復が組み込

まれるようにあらゆる持続可能な開発計画と規制を受け入れよう。

b. 地球の生命維持システムを守り、地球の生物多様性を維持し、自然遺産を保護するために、野生地や海洋を含む、自然と生物の生存可能な保全地域を指定し、これを守ろう。

c. 絶滅の危機に瀕した生物種と生態系の再生を促進しよう。

d. 外来種や遺伝子組替え品種の中で、原産種と環境に害を及ぼすものは、規制または根絶しそうした有害種の移入を阻止しよう。

e. 水、土壤、林産物、水産物のような再生可能な資源の使用を、生態系の再生速度を上回らず、生態系のバランスを維持するような方法で、管理しよう。

f. 鉱物や化石燃料のような再生不可能な資源の採取や使用については、その資源の枯渇を最小限にとどめ、深刻な環境破壊を引き起こさないような方法で管理しよう。

6. 生態系保護の最善策として、環境への害を未然に防ぎ、充分な知識がない場合には予防原則をとろう。

a. 環境にとつて重大な、あるいは取り返しのつかない害を及ぼす可能性がある場合には、たとえ科学的知見が不充分、あるいは不確実であっても、それを避けるための行動を起こそう。

b. 環境に重大な害を及ぼさないとして提案された活動には、その提案者に証明責任を課し、環境被害に対する責任を負わせよう。

c. 意思決定に際しては、人間の活動の累積的、長期的、間接的、長距離的、地球規模的結果を考慮することを明確にしよう。

d. 環境への汚染はすべて防止し、放射能や有毒、危険物質の蓄積を阻止しよう。

e. 環境に害を与える軍事行動は回避しよう。

f. 生産、消費、再生産については、地球の再生能力を傷つけず、人権や公共の福祉を保護するような方法を採用しよう。

a. 生産、消費のシステムにおいて、リデュース、リユース、リサイクルを原則とし、残った廃棄物は生態系に影響がない方向で処理する方法をとろう。

b. エネルギーの使用については、節約と効率化とともに、太陽光や風力のような再生エネルギー資源への依存を高めよう。

c. 環境にやさしい技術の開発、採用、公正な移転を推進しよう。

d. 環境と社会コストを、物やサービスの値段に組み入れ、消費者が、環境面、社会面で最も高い水準に達している商品を選べるように工夫しよう。

e. 安全な出産や責任のもてる家族計画を促す保健サービスを、誰もが利用できるようにしよう。

f. 限りある地球上で、質の高い生活と物質的に「足るを知る」ライフスタイルを探ろう。

8. 生態系の持続可能性に関する研究を進め、既存の知識を自由に交換し、幅広く応用しよう。

a. 持続可能性に向けての科学面、技術面での国際協力を支持し、特に発展途上国とのニーズに配慮しよう。

b. すべての文化が持つ伝統的知識と精神的知恵の中で、環境保護と人々の福祉に貢献するものを認め、守っていこう。

c. 人間の健康と環境保全にとって非常に大切な情報は、遺伝子情報を含め、誰にも独占されず開かれていることを確保しよう。

III. 公正な社会と経済

9. 倫理的、社会的、環境的要請として、貧困の根絶に取り組もう。

a. 飲料水、きれいな空気、食料の安全性、汚染されていない土壤、住居、安全な公衆衛生への権利を保証し、そのためには必要な資源を、国内及び国境を超えて分配しよう。

b. すべての人が持続可能な生活を送ることができるように、教育や手段を与えよう。自らを支えることができない人のためには、社会保障やセーフティネットを用意しよう。

c. 目を向けられずにいる人々に気を配り、傷つきやすい人々を保護し、苦しむ人々に奉仕し、彼らが自らの能力を伸ばし、希望を追求できるようになよう。

c. 確認しよう。

d. 私たちの地域共同体に住む若者たちの能力を認め、支援し、持続可能な社会を創造していく上で彼らが重要な役割を果たせるようにしよう。

e. 文化的、精神的に大切な場所を、保護し、修復しよう。

10. 経済活動やそのしくみは、あらゆるレベルで公平かつ持続可能な形で人間開発を促進するものとしよう。

a. 国の内外を問わず、富の公平な分配を促進しよう。

b. 発展途上国の知的、資金的、技術的、社会的資源を増進させ、重い対外債務から救済しよう。

c. すべての貿易は、持続可能な資源の利用、環境保全、先進的な労働基準にかなうものであることを確認しよう。

d. 多国籍企業や国際金融機関は、公共の利益のために透明性をもつて行動し、自らの活動がもたらす結果に対して責任を負うものとしよう。

c. われわれの地域共同体に住む若者たちの能力を認め支援し、持続可能な社会を創造していく上で彼らが重要な役割を果たせるようにしよう。

d. 文化的、精神的に大切な場所を、保護し修復しよう。

11. 男女間の平等と公平は、持続可能な開発にとって必須なものであることを確認し、教育、健康管理、経済的機会を誰もが均等に享受できるようになよう。

a. 女性や少女の人権を守り、彼女らに対する暴力を根絶しよう。

b. 女性たちが経済、政治、市民生活、社会活動、文化的生活のあらゆる面で出生などに基づくあらゆる差別をなくそう。

c. 先住民の精神性、知識、土地、資源に対する権利と、それらを活用した持続可能な生活を続ける権利

d. 私たちの地域共同体に住む若者たちの能力を認め、支援し、持続可能な社会を創造していく上で彼らが重要な役割を果たせるようにしよう。

e. 文化的、精神的に大切な場所を、保護し修復しよう。

12. すべての人が自らの尊厳、健康、幸福を支えてくれる自然環境や社会環境をもつ権利を差別無く認め、特に先住民や少数民族の権利に配慮しよう。

a. 人種、肌の色、性別、性的指向（同性愛者）、宗教、言語、国籍、民族、身分制などに基くあらゆる差別をなくそう。

b. 先住民の、精神性、知識、土地、資源に対する権利と、持続可能な生活を続ける権利を確認しよう。

c. われわれの地域共同体に住む若者たちの能力を認め支援し、持続可能な社会を創造していく上で彼らが重要な役割を果たせるようにしよう。

d. 文化的、精神的に大切な場所を、保護し修復しよう。

IV. 民主主義、非暴力と平和

13. 民主的な制度と手続きをあらゆるレベルにおいて強化し、行政に透明性と説明責任を課し、意思決定への

すべての人の参加を確保し、裁判を利用できるよう

にしよう。

a. すべての人が、自分たちに影響を及ぼす、また

は関心のある環境に関わる事柄や、すべての開発計画、開発活動について、明確、かつ、

タイムリーな情報を受け取る権利を持つよう

にしよう。

b. 地方や地域、そして国際の各レベルでの市民社会を支援し、意思決定にはすべての関係者

や関係機関が意味ある形で参加できるよう

推進しよう。

c. 言論、表現の自由、平和的集会の自由と結社の

自由、異議を唱える自由への権利を保護しよう。

d. 環境への害やその脅威のための補償や救済等を

含む、行政手続や独立した司法手続を効果的、効率的に利用できる仕組みをつくろう。

e. すべての公的機関や民間組織における汚職を

根絶しよう。

f. 自分たちをとりまく環境を守れるよう地域社会

を強化し、環境に対する責任は、最も効果的に果たすことのできる立場の行政レベルに割り

当てよう。

14. すべての人が享受できる公教育や生涯学習の中に、持続可能な開発に必要な知識、価値観、技術をとり入れよう。

a. すべての人々、中でも子供や若者に、教育の機会を与える、彼らが持続可能な開発のために活発に貢献できるようにしよう。

b. 持続可能性に関する教育については、科学が果たす役割同様、芸術や人文科学の貢献を推進しよう。

c. 生態系や社会が直面している課題への意識を高める上で、マスメディアが果たす役割を強めよう。

d. 持続可能な生活にとつて道徳教育や情操教育が重要であることを認識しよう。

15. すべての生き物を大切にし、思いやりを持って接しよう。

a. 人間社会で飼育されている動物への残虐な行為を防ぎ、苦しみから保護しよう。

b. 野生動物の狩猟、わな猟、漁獲に際しては、極度な苦痛と長引く不要な痛みを与えないようにしよう。

c. 標的以外の種の捕獲や採取をやめよう。

16. 寛容、非暴力、平和の文化を促進しよう。

a. 国内及び国家において、あらゆる民族同士の相互理解、団結、協力を奨励し、支援しよう。

b. 武力紛争を防ぐためには包括的な戦略を実施し、環境に関わる紛争や争いには、協調的な処理を

行おう。

c. 国家の安全保障体制を非攻撃的な自衛レベルに縮小し、軍事予算を、生態系の修復のような平和的目的のために転用しよう。

d. 核兵器、生物兵器、化学兵器やその他の大量破壊兵器を排除しよう。

e. 人工衛星軌道や宇宙空間の利用は、環境保全と平和に資するものとしよう。

f. 平和とは、自分自身、他人、他の文化、他の生命、地球、そしてすべてがその一部を構成する、更に大きな全体との間の、適切な関係によって創られた総体であることを認識しよう。

今後の選択の道

私たちは歴史上はじめて、共通の運命によつて新たな行動を始めることが求められている。こうした再出発こそ、地球憲章の原則に込められた誓いである。この誓いを実現するために、私たちは地球憲章の価値観と目的を受け入れ、推進していくことを決意しなければならない。

そのためには、意識と考え方を変えなければならない。

地球規模の相互依存と人類共通の責任という新しい感覚が必要となる。私たちは想像を使つて、持続可能な生活様式のビジョンを、地方、国家、地域、地球レベルでつくり、実施しなければならない。私たちの文化の多様性は大切な遺産であり、それぞれの文化は独自の方法でそのビジョンを実行に移すことになるだろう。

私たちは、地球憲章を誕生させたこの地球規模での対話を、さらに深め、広げなければならない。なぜなら、真実と知恵と共に探し続けることによつて多くを学ぶのだから。人生には重要な価値観をめぐる対立がよくあり、それは時として厳しい選択となり得る。しかし、多様性と統一性、自由な行動と公益、短期の目的と長期の目標を調和させる方法を探さなければならない。

個人、家族、組織、共同体は、それぞれ大切な役割を持っている。芸術、科学、宗教、教育機関、メディア、企業、非政府組織（NGO）、政府などすべてが、それぞれに創造的なリーダーシップを發揮することが求められている。効果的な統治には、政府、市民社会、企業のパートナーシップが欠かせない。持続可能な地球共同体を築くために、世界中の国々が、国際連合に貢献する決意を新たにし、既存の国際協定に基づく責務を果たし、環境と開発に関する国際法を用いて、地球憲章の諸原則の実行を支援しなければならない。私たちの時代を、生命の新たな尊厳への目覚め、持続可能性を実現するための確たる決意、正義と平和を確立するための更なる努力、そして、喜びと祝福に満ちた生命と共に想起される時代にしようではないか。

まんが

地球憲章

地球を救うための価値と原則

2014年11月発行

*The Earth Charter
Manga*

著 者 山井 教雄（やまのい のりお）

©Norio Yamanoi 2014 E-mail : no_rioyamanoi@yahoo.co.jp

1947年東京生まれ。東京外國語大学スペイン語科卒業、マッキヤンエリクソン専修報堂入社。1977年退社後渡仏。映画、語学教材の教育ビデオを制作。1987年帰国後、国内外の新聞、雑誌で漫画連載。1991年漫画集『ブーゲンギル』（朝日新聞社）で文春漫画賞受賞。2000年フランス・ルーアン市における国際政治漫画フェスティバルでグランプリ受賞。2003年よりダボス会議漫画部門メンバー。講談社から2005年『まんがバレスチナ問題』、2009年『まんが現代史—アメリカが戦争をやめない理由』を出版。

監修・発行 地球憲章アジア太平洋・日本委員会

TEL : 052-789-5643 E-mail : contact@earthcharter.or.jp

委員会代表 広中 和歌子（地球憲章国際審議会委員、元参議院議員、元環境庁長官）

事務局長 竹内 恒夫（名古屋大学教授）

写真協力 特定非営利活動法人国境なき医師団日本

WWFジャパン

制作協力 公益財団法人水と緑の惑星保全機構

本冊子が中学校、高校などで教材として、あるいは市民集会の討論などで広く使われることを歓迎します。使用の際pdfが必要な場合は委員会にご連絡ください。本冊子使用後速やかにご報告、ご感想、ご意見を委員会ならびに著者にぜひお寄せください。コスモリカにある地球憲章本部と世界各地での地球憲章促進活動については、<http://www.earthcharterinaction.org/content/>にアクセスいただければ、詳しい情報を得られます。